

公益財団法人 母子健康協会
第45回シンポジウム

「こどもの発達を促す接し方と保護者への支援」

日時

2025年（令和7年）1月31日（水） 午後2時～6時

座長

埼玉県立小児医療センター 病院長 岡 明

場所

アルカディア市ヶ谷：私学会館（東京都千代田区）
※WEBにて全国の参加申し込み者にもLIVE配信

講演

1. イン트로ダクション

1ページ

…子どもたちの可能性を伸ばすために…

座長 埼玉県立小児医療センター 病院長

岡 明

2. 行動が気になるこども 気づきのポイントと対応法

5ページ

—すべての子どもの未来のために役だつと思うこと—

講師 かねはら小児科 院長

金原 洋治

3. 気になる子どもを伸ばす保護者への支援

19ページ

～ペアレント・トレーニングの視点から～

講師 心身障害児総合医療療育センター 小児科医長

長瀬 美香

4. 総合討論

39ページ



イントロダクション

埼玉県立小児医療センター 病院長
岡 明

「子どもたちの可能性を伸ばすために」

皆さん、こんにちは。座長を務めさせていただきます岡でございます。本日は、よろしくお願いたします。



今、お話にありましたように、今回このシンポジウムをどういうテーマにしたらいいかというのを母子健康協会の方と会長の江崎理事長も含めて御相談をして、皆さんから去年いただいたいろいろな御意見とかアンケートをよく見せていただいて、こういうところがさらに聞きたいところなのかなということ、企画をさせていただきました。ですので、さつき御紹介いただいたように、アンケートをとっても大事にちゃんと見ていきますので、是非、ウェブの方も、よろしく願いたします。それを基に運営していきたいなというふうに思っております。

私のほうは、最初にイントロダクションとして、一般的な話題などを少し触れさせていただければと思います。

まずは子供を取り巻く環境ということ、言いますと、令和5年、2023年の4月に子ども家庭庁というお役所が新しくできましたよね。それで、あそこは子供に関する政策の司令塔だということ、いろいろな行政の方から、厚生労働省とか文部科学省とかいろいろなところから

人が集まって、子供に関することを考えていただいています。そのときに、これも基本法という法律ができて、それで具体的にどんなことをしましょうかということが子ども大綱ということ、同じ年の12月に発表になっています。これは、多分非常に今後とても大事になる我が国の子供たちへの支援の考え方ということになるかなというふうに思います。

キャッチフレーズは、子どもまんなか社会ということで、私が感じているのは子どもまんなか社会というのは2つの意味があって、一つは赤ちゃんであるとか妊婦さんであるとか、そういう子供たちを大事に育てましょうねということ、あともう一つはもう少し大きなお子さんですね。例えば、思春期の方とか、学童も入れるべきなのかもしれないけれども、そういう子供たち自身の意見もちゃんと聞きましょうという、そういう2つの意味合いが特に大きいかなというふうに思っています。

そこで、健康ということに関しては、ここで少しピックアップして書かせていただいているように、身体的、精神的、社会的に、子供たちは将来がありますので、将来にわたって幸せな状態。それを、ウェルビーイングという英語をそのまま片仮名に変えた名称が出てきていて、これが一つ、この子ども大綱の大きなキャッチフレーズになっています。このウェルビーイングというのは、なかなかいい訳語がなくて、ウェルビーイング？ とよく言われたりするんですけども、もともと世界保健機構、国連の世界保健機構で健康というものの定義が、このウェルビーイングという言葉が使われているということになります。

このウェルビーイングというのはどういことかとすると、健康というのはただ病気ではないということだけではなくて、それから体が病気ではないということだけではなくて、肉体的にも精神的にも社会的にも、社会的にもということ、例えば子供という家庭であるとか学校であるとか保育であるとか、そういうことも含めて肉体的にも精神的にも社会的にも全てが満たされている状態ということが健康なんだというの、世界中の人たちが目指している方向ということになります。ですので、日本も子供たちの健康ということを考えたときに、このウェルビーイング、今までの健康というのより少し幅広い意味があるんだと思いますけれども、そこを指すということ、大きなテーマになってきているというふうにお考えください。

ですので、例えば子供の体というと、まずは栄養の問題であるとか感染症であるとか、アレルギーなんかはやはり皆さん日々現場で苦労されていると思います。それから、精神的ということ、一つはやはり発達に課題のあるお子さんがいらっしゃるということもありますし、あとは心の問題ですね。幼児さんでも、やはりいろいろな心理的な負荷がかかっていたりするようなお子さんもいますので、そうしたことに

子ども大綱

2 ライフステージ別の重要事項（1）子どもの誕生前から幼児期までの子どもの誕生前から幼児期までの子どもの成長の保障と遊びの充実

子どもの心身の状況や、保護者・養育者の就労・養育状況を含む子どもの置かれた環境等に十分に配慮しつつ、子どもの誕生前から幼児期までの育ちをひとしく、切れ目なく保障する。待機児童対策に取り組むとともに、親の就業の状況にかかわらず、特に3歳未満児の子育て当事者が地域の中で孤立しないよう、認定こども園、保育所、幼稚園、地域子育て支援拠点など地域の身近な場を通じた支援を充実する。幼稚園、保育所、認定こども園のいずれにも通っていない子どもの状況を把握し、必要な教育・保育、子育て支援サービス等の環境整備を進め、利用につなげていく。あわせて、病児保育の充実を図る。

幼児期の教育・保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることから、幼稚園、保育所、認定こども園の施設類型を問わず、安全・安心な環境の中で、幼児教育・保育の質の向上を図ることを通じて、障害のある子どもや医療的ケア児、外国籍の子どもをはじめ様々な文化を背景にもつ子どもなど特別な配慮を必要とする子どもを含め、一人一人の子どもの健やかな成長を支えていく。

3

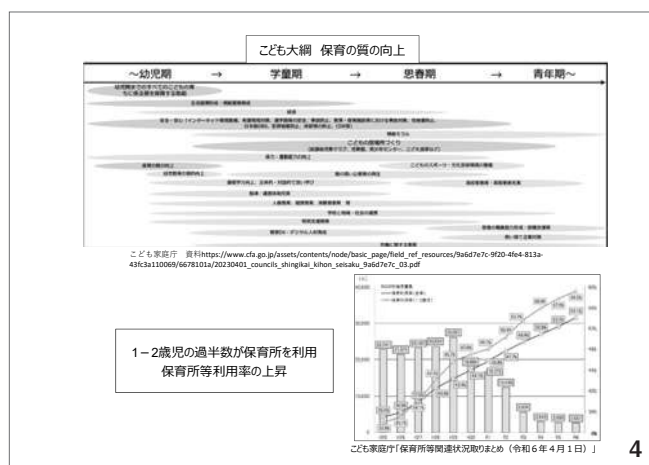
もケアしてあげないといけない。そして、社会的にいうことは、御家庭の中にはやはりいろいろ悩みのある御家庭もありますし、それから保育とか教育の現場でうまく適用できたり、できなかったりという、そういったようなことも含まれてくる。だから、子供たちのことをそういう全部トータルに考えていかないといけないというのが、今の時代の目指すべきことなんだろうというふうに思います。

それで、こども大綱の中で、幼児期については結構やはり保育の言葉が出てきます。これは、ちょっと字数が多いので申し訳ありません。行政の文書ですので、行政の方は本当に一生懸命考えていることをできるだけコンパクトに書くようにとされるんだと思うんですが、そうするとなかなか読んでちょっと頭の中に入りにくいんですけれども、ただ、ここで読んでいただくと、例えば真ん中から下のところで、幼児期の教育・保育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることからということで、やはり保育のことがとても強調されています。

ですので、このこども大綱の中で、今までの家庭教育ということももちろん大事なんですけれども、保育、あるいは幼稚園、そういうところに預けたところでの生活ということがすごくやはり強調されているなというふうに思います。ですから、国はやはりそこで子供たちがどういう環境で過ごしているのかという、そのことをとても気にしているということが、非常にこの新しい政策の中では分かるかなというふうに思っています。

この前の上段のほうは、ですから保育所とかそういうところにも通っていない子供たちの親御さんへの支援ということが制度として始まっていますけれども、やはりそのことがうたわれているわけで、以前は子供はうちの中で育てるものだということがやはり一つの社会の通念としてあったかと思いますが、今は社会としてしっかり日本の子供たちを育てていくというふうに、やはり日本の国としても考えてきているんだなというふうに思っています。

実際に、アメリカで女性が社会進出するときに、それまではやはり家庭の中で子供を育てるんだというふうになられていたのが、女性が社会進出することによってそういう保育に入っていくようになったときに、やはりこういういったような議論があつて、そのときには、アメリカではやはり科学的にどうなんだろうということでお子さんを比較したりしてみても、保育はちゃんとしっかり育つということも分かっていますし、それから保育の質がとっても大事だということもそのときのデータから言われたんです。ですから、そういう意味ではちゃんと質のよい保育をして育てていきましようという方向に、やはり日本の社会も変わってきたんだなというふうに私自身は思っています。



それで、これはこども大綱の資料の中から取ってきたんですけども、ちょっと小さくて分かりにくいかもしれませんが、幼児期というところには、真ん中ぐらいいの下のところにピンクで保育の質の向上ということがしっかりと書かれています。ですから、この幼児期のところの国の方針の非常に明確に書かれているのが、保育の質の向上ということになります。だから、国としても一生懸命この部分をどういうふうに保証していくかということに、やはり力を入れていただけるはずだというふうに私自身もとても期待しているところになります。

それから、右下のグラフはこども家庭庁が定期的に出している数字ですけど、例えばこの緑の線が1、2歳児の数字です。1、2歳児でいうと、一番新しい令和6年の4月の段階で59.3%のお子さんたちが保育所にいますよということ、子供たちがそういう小さい時期でももう既に、家庭だけでなくで育つ場が保育の場に変わってきているということは明らかなんだと思います。ですから、その子供たち、例えば今私は埼玉にいますけれども、埼玉とかでもいっぱい新しい保育所ができました。お母さんたちも預けることがしやすくなってきています。ですから、その質は本当にとっても大事なんだなというふうに思います。そこで、やはり健康な子供たちを育てるということが次の日本をやはり変えていく、よいものにしていくことになるかと思っています。このシンポジウムを少し振り返ると、2022年のときに、その前はコロナの話題を少し取り上げていたりしたんですけども、ちなみにコロナのときも休まずに母子健康協会の方がウェブでこのシンポジウムを開催していただいたんですが、コロナが落ち着いてきて、コロナのときにはやはりコロナ禍で子供の心の問題が心配ですというアンケートを結構いただきました。そこで、秋山先生に気になる子供ということでお話をしていたんですけれども、そのときにやはり非常に反響が大きかったなというふうに思いました。

反響が大きかった中で一つは、コロナで結構皆さんもお子さんとの距離をどうい



今回のシンポジウムの趣旨 「こどもの発達を促す接し方と保護者への支援」

前回のシンポジウム

子どもたちの中で、いわゆる「気になる子」
もしかしたら発達障害かも
どうやって保育所の中で支援をしていくか
どうやって地域の支援につなげていくのか
➡ 大変に困っている子どもたちへの支援

今回のシンポジウム

もう少し広い視野で子どもたちの行動や課題について
よく相談を受ける内容 どの様に対応したらよいのか
ペアレントトレーニングの考え方を保育の場でどの様に活用するか
特に保護者への支援につなげていくのか

6

本シンポジウムでのこどもの心の課題への取り組み 皆様からの声に応じて

第42回（2022年）「乳幼児の心と体の健康」

●秋山 千枝子先生（あきやま子どもクリニック院長）
気になる子どもとその対応・・・発達に課題がある子どもや家庭に問題がある子どもへの対応

第43回（2023年）「乳幼児の心理発達に必要なアタッチメント（愛着形成）」

●遠藤 利彦先生（東京大学大学院教育学研究科教授）
乳幼児の心の発達とアタッチメント...「安心感の輪」と「一人でいられる力」の大切さ
●田中 恭子先生（国立成育医療研究センター こころの診療部 児童・思春期）
エソソ診療科診療部長）
子どもと愛着、その支援を考える

第44回（2024年）「発達や行動が気になる子供への園での対応」

●広瀬 宏之先生（横須賀市療育相談センター 所長）
発達障害支援のコツ
●佐々木 美恵先生（埼玉学園大学人間学部心理学科教授）
発達や行動が気になる子どもと保護者への支援

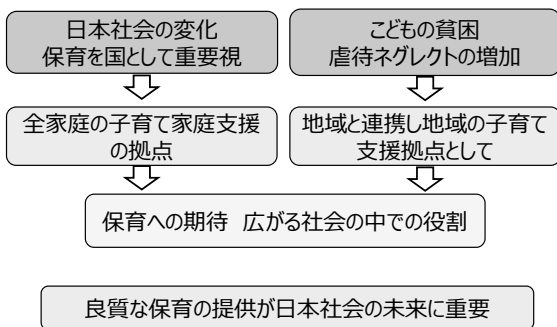
5

ふうにとったらいいか。あのときは、ディ
スタンスを取れというふうに言われたわ
けですけども、そんな保育でディス
タンスは取れないわけですが、いろいろと
感染に気をつけて距離を取るようと言
われて、非常に現場で悩まれたようです。
そのことでアタッチメント、愛着形成に
問題が出ていないかどうかという御心配
の声があったので、そこで愛着形成、ア
タッチメントということで2023年は
お話ししていたので、これもとても皆
さんから大きな反響を得たというふう
に思いました。

そのときに、発達障害についても話を
聞きたいというお声が非常に多くて。そ
こで、去年は広瀬先生と佐々木先生に発
達障害のお話をさせていただいたというこ
とになります。これはもう本当に、園で
気になる子とは言っても、やはりどちら
かというと自閉症であったりとかADHD
であったりとか、ある意味で診断がつ
いてしまう子。あるいは、もう既に療育
に通っているけれども、保育園で支援し
ていただいているような子。そういった
ようなお子さんを念頭に置いて、広瀬先
生、佐々木先生にお話をさせていただいた
ということになります。

そうしましたら、去年のアンケートの
中でもっと幅広いお子さんたちについて
の支援ということを知りたいというお声
をいただきました。それで、先ほど御
説明があったように、今年は江崎理事長
とも御相談して、もう少し園にいるお子

こどものプロフェッショナルとしての保育への期待



7

さんでどういうふうに支援をしたらより伸びて成長、発達していくかどうか。いろい
ろと課題はあるんだけど、接し方とかそういうことでどういうふうに変
えていけるか。そういう視点で何かお話をお願いできないかということで、今回はお
二人の先生にお話をお願いしたということになります。

これからお二人の先生に御講演いただきますけれども、どちらの先生も物すごいエ
キスパートで、それでまた本当に現場のことを御存じなので、そういう意味で非常
に具体的なお話が聞けるのではないかなというふうに楽しみにしています。

お二人の先生のスライドを見ても、非常によく相談を受ける内容に対してどうい
うふうに対応したらいいのか。そして、特に後半の長瀬先生は、よくペアレント・トレ
ニングと言いますけれども、ペアレント・トレーニングは親御さんがという意味で
が、同じ考え方が実は保育所でも通用するし、またそこで保育所で親御さんの支援に
も使えるしということ、そうした視点でいえば保護者への支援ということをお話し
いただけるかなというふうに思っています。

先ほど来お話ししているように、日本の社会は少し変容してきて、やはり子供のプ
ロフェッショナルの方がいらつしやる場所としての保育への期待というのは、こども
大綱を見てもやはりとても大きくなってきているなというふうに思っています。そう
いう意味で、家庭の子育てを支援する拠点が、地域の拠点としての保育の立ち位置と
いうのが出てきているのかなというふう
に思います。

また、一方で、私も医療現場にいます
けれども、やはりネグレクトとか虐待と
かという残念な結果を見ることがありま
すが、そういう非常に課題のある家庭も
地域の中にはやはり一定の率でいて、そ
ういう方がやはり保育で支援をしていた
だいているというケースは非常に多いと
思います。国は、そういうお子さんにつ
いてもやはり期待をしているということ
は分かります。そういう期待が大きい中
で、さっきも申し上げたように、良質な
保育ということが子供たちが成人になっ
たときに大きな影響があるということは
分かっていますので、ぜひ今日のお話を

聞いていただいて、そうした日々のお子さんへのケアにつなげていただければという
ふうに思っています。

以上が私のイントロダクションであります。それでは、お二人の先生の講演に移ら
せていただきたいと思います。



行動が気になる子ども 気づきのポイントと対応法

—すべての子どもの未来のために役だつと思うこと—

かねはら小児科 院長

金原 洋治

演題名は、「行動が気になる子ども 気づきのポイントと対応法—すべての子どもの未来のために役だつと思うこと—」ですが、岡明先生のご意向もあり、発達障害以外の気になる子ども中心の内容のお話にさせていただきます。

私の外来や園医健診、5歳児健診などで受ける幼児期の相談の中で、多い相談内容をピックアップしてみました。大きく分けると、言葉、癖、行動、運動、感覚、情緒、コミュニケーション。食事や排泄などですが、今日は食事や排泄を除く項目についてお話します。

園で気になる子どもの要因は様々で、



公益財団法人 母子健康協会
第45回シンポジウム

行動が気になる子ども 気づきのポイントと対応法 —すべての子どもの未来のために役だつと思うこと—

かねはら小児科 金原洋治
令和7年1月31日(金) (60分)
アルカディア市ヶ谷 私学会館

1

幼児期の相談内容（主なもの）

ことば：言葉が出ない・少ない、発音が悪い、吃音、園でしゃべらない、理解が遅い
クセ（習癖）：指しゃぶり、爪かみ、性器いじり、マスターベーション
行動：活動に参加しない、一人遊びが多い、手足が出やすい、落ち着きがない
多動、チック
運動：運動が遅い・苦手、手先が不器用
感覚が敏感：大きな音を怖がる、歯みがきや服のタグを嫌がる、食べ物の匂いに敏感
情緒：すぐに泣く、怒りっぽい、かんしゃくがひどい、異常な怖がり、不安が強い
登園時に泣いて親から離れない、気持ちの切り替えが苦手
コミュニケーション：指示が入りにくい、ルールがわからない、こだわりが強い
食事：少食、偏食、噛まないで飲み込む
排泄：おしっこが近い、オムツが外せない、おしっこやうんちをよく漏らす

2

今日のお話の内容

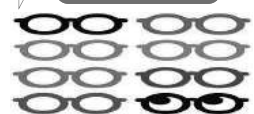
- ①行動が気になる子どもの理解に必要なこと
気質・性格・個性・特性、バリエーション、グレーゾーン
- ②行動が気になる子どもの気づきのポイントと対応法
- ③全ての子どもの未来のために役だつと思うこと

4

行動が気になる子どもの要因は様々
園で気になる子は10~30%
発達障害メガネではなく多様なメガネで見る

気質・性格・個性・特性
性差・早生まれ
発達のバリエーション
知的障害・発達障害
不安
感覚
能力
養育環境

気になる子



3

気質・性格・個性・特性、性差・早生まれ、発達のバリエーション、知的障害・発達障害、不安、感覚、能力、養育環境などが主なものです。同じ子どもを見ていのに、発達障害メガネで見ると発達障害のように見えてしまいますし、そうでないメガネで見ると違うように見えます。発達障害メガネで見ると子どもの理解しにくい部分がスッキリして見えやすくなりますが、反面、それ以外の部分を目を凝らして見ることを怠りがちになりやすい気がします。様々なメガネや視点で見ることが大切です。気になる子どもの一部が発達障害です。他のメガネで見ると違って見えますし、関わり方がわかってきます。

これからのお話の構成は、この3つです。①行動が気になる子どもの理解に必要なことを20分くらい、②行動が気になる子どもの気づきのポイントと対応法を多くの時間でお話し、残りの時間を、③全ての子どもの未来のために役だつと思うことについてお話しします。

行動が気になる子どもの理解において、特に必要なことや大切にして欲しいと思うことは、気質・性格・個性、特性の理解です。これらはよく似た言葉ですね。それと関係していますが、バリエーション、グレーゾーンも大切です。子どもたちの気になる行動の9割は、これら6つの項目に該当すると思います。発達障害の頻度は10%くらいではないかと言われていますし、文部科学省の全国調査では、8.8%

赤ちゃんの気質の縦断研究

	頻度	行動の問題
育てやすい子	40%	18%
慣れるのが遅い子	15%	40%
育てにくい子	10%	70%

(Thomas, A. and Chess, S.: Temperament and development. New York: Brunner/Mazel 1977)

赤ちゃんの気質を9つの特性の組み合わせで分類し大人になるまで成長を追跡

活動性・規則性・接近回避・順応性・反応の強さ・反応の閾値

機嫌・気のまざれやすさ・注意の幅と持続性

育てにくい子でも適切な支援で育てにくさが減る

(保育者向け研修講演用テキスト 園で気になる子どもの理解と関わり方、一般社団法人 日本保育保健協会)

6

行動が気になる子どもの理解に必要なこと

- ・ 気質・性格・個性・特性
- ・ バリエーション、グレイゾーン

5

と報告されていますが、園で気になる子は、先ほどのスライドで紹介したように、幅広い内容を含むので、もう少し頻度が高いと思います。

最初に、気質についてお話しします。赤ちゃんは、まだ、環境の影響を受けていないので、赤ちゃんの性格は気質そのものと言っていると思います。有名なトーマス&チエス博士の生後2ヶ月の乳児の気質を9つの特性に分けて大人になるまでに成長を追跡した研究を紹介しましょう。保育士の資格試験にもよく出てくる研究です。誰が育てても育てやすい子が40%、慣れるのが遅いが15%、誰が育てても育てにくい子10%いて、残りの35%は分類不能ですが、育てにくい子は行動上の問題を起こしやすく70%もいたそうです。慣れにくい子はシャイな子や内弁解なタイプの子のイメージです。育てにくいから行動上の問題が多いのです。行動の問題の発生率は、養育者との適合の良し悪し(フィットネス)や周囲の人々のサポートによって影響を受けていました。ですから、皆さんのお仕事はとても大切なのです。育てにくい子の一部が発達障害だと思っています。この報告は、子どもと親だけを別々に見るのではなく、周囲の人々の関わり方や家族支援の大切さを教えてくれます。育てにくい子でも、親と子の双方向からの関係性を支援することにより、問題が減ってきます。

私や岡明先生が所属する日本保育保健協議会で、「園で気になる子どもの理解

気質・性格・個性・特性の違い

- ①気質: 遺伝子や胎内環境などによる感情傾向
- ②性格: 考え方・行動様式などの特徴的傾向
- ③個性: 性格・能力・容姿・声・好みなど幅広い特徴
 - ①は生まれつき備わったもので、変化しない
 - ②③は生活体験などで形成されるもので、変化する

特性っていうけれど、性格特性と発達特性がある

性格特性: 人間性や個人的側面を明確にするのに役立つ特性や資質

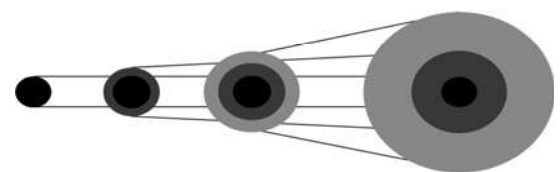
* パーソナリティ (人格) に近い概念

発達特性: 神経発達症 (発達障害) 的特性を指すことが多い

8

性格は気質を基盤に 環境との相互作用で形成される

■ 社会(学校)環境
■ 家庭環境
■ 素因



気質 (遺伝的) + 養育環境 + 育成環境 (子どもや大人との関係・社会環境)

7

と関わり方」という、保育者向けテキストを発行しました。今日のお話に用いたスライドは、このテキストに掲載しているものを多く使いました。このテキストには、パワーポイントの下にノートで解説文を記載しておりますしCDが付録でついていきます。日本保育保健協議会のHPから購入できます。購入してご利用いただいたら嬉しいです。

性格の成り立ちを図にしたものです。この黒い部分は気質で、ほとんどが遺伝的に受け継いだものです。成長とともに周りの灰色部分で示す環境のウェイトが大きくなります。性格は、気質を基盤にして、家族の人たち、子どもたちや先生、地域の人たちなどから影響を受けて形成されます。

言葉の使い方はとても大切なので、もう少し丁寧に、気質、性格、個性の違いについて説明します。気質は、遺伝子や胎内環境などによる感情傾向で、生まれつき変えることが困難です。子どもの気質が気に入らないので変えようと思いがざると失敗します。周囲の大人との関係性が悪くなるか、自信がない子に育ってしまうかもしれません。性格は、考え方や行動様式などの特徴的傾向で、変える必要はないかもしれませんが、変えようと思えば学習や体験によって変えることができます。個性は、気質や性格に加えて、能力・容姿・声・好みなども含む幅広い特徴で、これも変えることができます。次に特性についてお話しします。特性には性格特性

6

幼児の発達には、多くのバリエーションがあり 正常と異常の間に、はっきりと線を引くことはできません

(R. S イリングワース著、山口規容子訳、The Normal Child メディカルサイエンスインターナショナル、1994)

- ①あらゆる面で平均的（意外に少ない）
- ②最初は平均的だが次第に早くなる
- ③最初は平均的あるいはやや早い後に退行するか遅れる
- ④ある面では早い他の面では平均的あるいは遅れている
- ⑤あらゆる面で早い
- ⑥ある面では遅れているが他の面では平均的あるいは早い
- ⑦あらゆる面で遅れている状況が改善せず持続（知的障害）
- ⑧大部分の面で遅れているが後に平均に追いつくあるいは追い越す（出だしが遅い子：スロースターター）
- ⑨発達が中断。後に突然発達が再開して加速（言葉の発達によくある）

13

発達のバリエーション

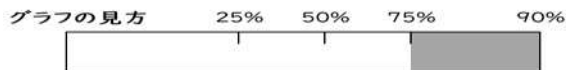
子どもの発達のスピードや道筋には大きな幅がある（バリエーション）

* どのくらい遅ければ・どのくらい偏りがあれば心配なのか？

例：デンバー式発達判定法（DENVER II）（日本小児医学出版社）

「個人-社会」「微細運動-適応」「言語」「粗大運動」

* 各項目を通過率で評価（何%の子どもが達成しているか）



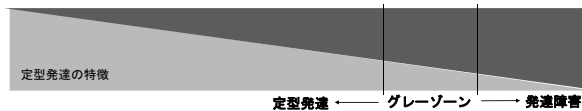
12

イブと呼ばれています。

次は、発達のバリエーションについて説明します。バリエーションというのは、道筋や程度の幅と考えて頂いたら良いと思います。子どもの発達のスピードや道筋には大きな幅がありますが、これが発達のバリエーションです。どのくらい遅ければ、どのくらい偏りがあれば心配かということ。発達評価法の中で、バリエーションについて理解しやすいのが、デンバー式発達判定法です。個人-社会、微細運動-適応、言語、粗大運動、それぞれの項目の通過率をチェックする方法です。同じ項目でも、いつできるようになるかは個人差が大きいので、その月齢の何%の子が達成しているかどうかをチェックします。たとえば、1歳6ヶ月健診の時には、言葉が3語や5語以上喋れるか、指差しができていのかどうかを目安にしてスクリーニングをします。できていない子の25%を要フォロー、10%を要相談や要精査などと評価していると思います。

幼児期の発達の道筋には多くのバリエーションがあり、その時点だけの評価では、正常と異常の間に、はっきりと線を引くことができません。発達のバリエーションを9つのタイプに分けてみました。①と②⑤は心配ないです。③④は、ちょっと気になります、⑥も少し心配です。⑦は知的障害です。⑧は、出だしが遅い子やスロースターターで、一時は少し心配だったが大丈夫な例です。⑨は発

発達障害的特性は濃淡はあるが全ての人が持っている 発達障害は活動や参加に支障がある場合に診断



・境界不鮮明で成長や環境によって境界が移動する・ストレス状況下で顕在化

グレーゾーンは一樣に灰色ではなく白と黒のモザイク。濃淡や色合いも違う

14

達が中断したが。後に突然発達が再開して加速するパターンですが、言葉の発達によく見られます。幼児の発達には、さまざまなバリエーションがあることを、頭の中に入れて子どもを見ることが大切です。

次はグレーゾーンについて説明します。グレーゾーンは、さまざまな分野で使われます。金融分野や法律の分野などです。発達分野では、程度の差はありますが全ての子どもがグレーゾーンの部分を持っています。障害は活動や参加に支障がある場合に診断するルールになっていて、発達障害的な特性があっても活動や参加に支障がない場合には診断しません。

境界不鮮明で成長や環境によって境界が移動する、ストレスがかかった状態になると、グレーゾーンの部分の特性が顕在化します。おそらく気質の部分ではないでしょうか。普段はカムフラージュして周りにわかりにくいようにして生活していますが、しんどい時は、余裕がなくなるとその人の本質の部分である気質がパツと出てくるのです。無理なことを求められると対人関係がこじれやすいです。有害無益な挫折体験を重ねることを避けましょう。がんばらせすぎに注意です。グレーゾーンは一樣に灰色ではなく白と黒のモザイクで、モザイクの部分にも白黒の濃淡があります。グレーゾーンの一部分を取ってみても、かなり黒に近い部分と白に近い部分が混ざり合っています。

診断基準をすべて満たしていたら発達障害ですが、発達障害的特性が強めであつても診断基準すべてを満たしていない場合が、発達障害グレーゾーンです。グレーゾーンにも幅があります。

発達障害グレーゾンの程度が軽いから、生きづらさはないのかどうかについてですが、生きづらさがあると思っています。グレーゾーンレベルの人は、できることとできないことの差が大きいので、周りの人たちにわかって貰いにくいし、できないことをわがままだとか嫉の仕方が悪いなどと非難されることがあります。特徴を一部持っている人や、なんとかできてしまう人の方がダメーじが大きく、後々深刻になる場合もあります。また、自分でできなさを感じてはいるが、発達障害であることを受け入



発達障害グレーゾンの生きづらさ わかって貰いにくい・自分でも受け入れにくい

- 『なんでできないの?』と、できないことを非難される場合やハラスメントを受けることがある
- 特徴を一部持っている人や、なんとかできてしまう人の方がダメージが大きくて後々深刻になる場合もある
- 自分のできなさを感じてはいるが、障害であることを受け入れるにはスティグマ（刻印）を押される感じがするので避けたい気持ちも当然ある
- できなさを他の人に隠したいのでカモフラージュし過剰適応してしまうことも多い。その結果、心身ともに疲れ果て適応障害やうつ病になってしまうことも多い

16

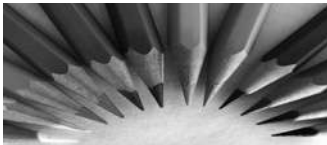
発達障害グレーゾーンとは何か

	基準A	基準B	基準C	基準D	基準E	基準F	診断結果
患者a	×	×	×	×	×	×	定型発達
患者b	×	×	×	×	○	×	グレーゾーン
患者c	×	○	×	○	×	○	グレーゾーン
患者d	○	○	○	○	○	×	グレーゾーン
患者e	○	○	○	○	○	○	発達障害

15

発達障害グレーゾーンはパステルゾーン

- 色には赤、青、黄色など多くの種類があるし青と黄色を混ぜると緑になるように色の種類は無限に広がり濃淡もある
- 複数の障害が同時にあると、「ぴったりADHDの症状に当てはまらない」といったことも起こる。青と黄色を混ぜると緑になるように、ベースには同じ障害があるのに見え方が違ってくる
- 発達障害は各人生のステージで濃淡が変わる
- どの障害がメインなのか、どう重なるのか、濃淡はどうかによって、違った様相を見せてくる。



17

れることは避けたい気持ちもあると思います。その結果、カムフラージュする場合や過剰適応してしまうことも多く、心身ともに疲れ果て適応障害やうつ病になりやすいです。そうならないようにするためには、その子にあった育て方や保育の仕方が重要になります。

このコーナーの最後のスライドです。「発達障害グレーゾーンはパステルゾーン」、とても素敵な言葉ですね。沖縄の名護療育園の泉川良範先生が、20年くらい前に使われた言葉です。白か黒かグレイかと表現するよりも、明るく肯定的なイメージの言葉だと思います。色には赤、青、黄色など多くの種類があるし、青と黄色を混ぜると緑になるように色の種類は無限に広がり濃淡もあります。色

行動が気になる子どもの気づきのポイントと対応法

18

ことばが出ない・増えない

3歳頃までに多い相談：ことばが出ない・増えない・わかっているのに話さない
主な要因：バリエーション（スロースターター）、経験・体験不足、意味が理解できていない、コミュニケーション能力の遅れ、聴力の問題

関わり方・対応

- ①生活の中での自然なことば掛け、絵本の読み聞かせ
- ②先回りして話さない、気持ちをことばにして言ってあげる
- ③2歳になっても全く言葉が出ない場合は相談機関での相談を提案
- ④ゲームやスマホなど電子機器との付き合い方の見直し

19

の混ぜ方によって、さまざまな色合いになります。複数の障害があると、最初はADHDの特性が目立っていたが、成長の途中で、自閉症やLDが目立ってくる場合もあります。また、それぞれの人には、生まれつきの気質や性格があって、偏りが強い人が発達障害の診断を受けるのです。ライフステージでも、その時々、どの障害の部分が目立っているか、重なっているのかによって、見え方が違ってくるし診断が変わってることがあります。

本日の本題、行動が気になる子どもの気づきのポイントと対応法についてのお話に移ります。

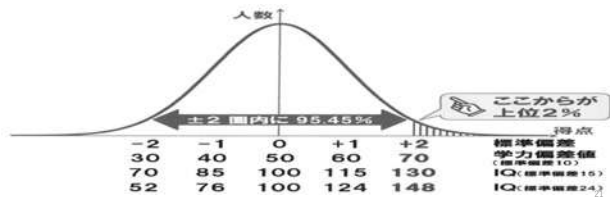
ことばが出ない・増えないは、3歳頃までの相談では、最も多い相談です。主な要因には、バリエーション（スロースターター）、経験・体験不足、意味が理解できていない、コミュニケーション能力の遅れ、聴力の問題などがあります。関わり方や対応は、生活の中での自然なことば掛け、絵本の読み聞かせ、先回りして話さない、気持ちをことばにして言ってあげるなどですが、2歳になっても全く言葉が出ない場合は専門機関での相談を提案します。ゲームやスマホの視聴時間と言葉の遅れの関係が指摘されています。外来では、ゲームやスマホなど電子機器との付き合い方も聞き取って付き合い方を提案しています。

昨年、かねはら小児科の石本美香代医師が中心になって、絵本「スマホくん」スマー

知的障害と境界知能の目安は (田中・鈴木ビネー)

知的障害：IQ70未満、約2%

境界知能：IQ70～85、約14% (知的障害グレーゾーン)



21



図報社写真印刷株式会社
(2024)
amazonでも買えるよ!

20

トフォンを使う前、渡す前に読む本」を出版しました。外来で診察の順番を待っている時や保健センターでの健診の場合などで、診察の順番が来てもスマホやタブレットを離さず泣き叫ぶ子どもが年々増えてきた状況の中で、スマホの依存の心身の発達への影響がかりになったため発行しました。保育園や幼稚園から多くの注文をいただいています。Amazonでも販売しています。保護者会などで、この本を使って。乳幼児期からスマホの上手な使い方をお伝えしていただけると嬉しいです。

言葉が遅れている場合に最初を考えるのは知的障害です。知的障害の評価は、幼児期は田中ビネーや鈴木ビネー知能検査を用います。1回の知能検査だけで知的障害の診断はしません。その時の知能の面での評価とお考えください。IQ70以下の知的障害が約2%、IQ70～85の境界知能は約14%います。境界知能が知的障害グレーゾーンに相当します。

幼児期から受診歴のある9人の発達障害と診断されている高校生の、発達検査結果をまとめたグラフです。対象は、県立高校生15名、私立高校生3名、通信制は1名です。田舎は成績がまずまずの中学生の多くは、公立高校に進学する傾向があります。横軸が検査を行った年齢で縦軸が知能検査結果です。薄い青で示した領域がIQ80から120の平均的な知的水準域で、黄色とピンクの部分の知的障害領域です。発達障害がある場合、幼

IQの恒常性

東京学芸大学教育実践研究支援センター「発達障害相談室」

先行研究からの課題

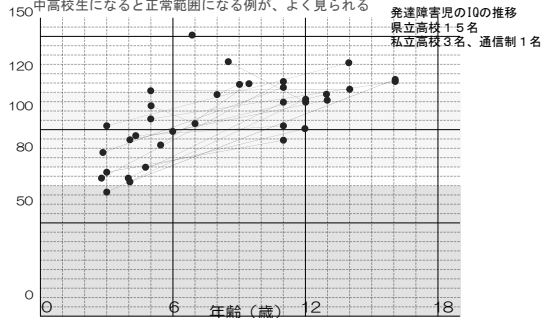
- ・ IQの恒常性に関して 7～8歳以降とする研究者が多い
- 健常児において、幼児・児童のIQは変化が見られる。成長につれて恒常性が高まる。(石川,1975)

知的・発達障害児のIQの恒常性に関する研究は、縦断的な研究の困難さからあまり見られない。

23

ビネー・WISCなど幼児期の発達検査の評価は慎重に！

発達障害がある場合、幼児期のIQが低くても、(伊住浩史先生のスライドを元に作成) 中学生になると正常範囲になる例が、よく見られる



22

児期のIQが低くても中学生になると正常範囲になる例があることを示しています。ビネー検査やWISC検査などで行う幼児期の知能検査結果の評価は、慎重にしましょう。

何歳くらいで測定した幼児期のIQが将来の知的水準を反映しているのかというIQの恒常性についての研究では、7～8歳以降とする研究者が多いようです。幼児期のIQは、低くても、年々高くなることあるので、あくまでも、その時点でのIQだと考えてみてください。

知能とは、「目的に合った行動をし合理的に考え自分の環境に効果的に対処する能力 (Wechsler)」と定義されていますが、知能は一つではなく色々な知能があるという考え方もあります。1983年にガードナー博士が提唱した多重知能理論 (mi: Multiple Intelligence) です。知能を評価する側も、この視点が大切だと思います。多重知能には、言語的知能、論理的知能、音楽的知能、身体運動的知能、空間的知能、対人的知能、内省的知能や博物的知能などがあります。最近では、人工知能 (AI)、生成AI (ChatGPTなど) が、すでに日常生活の中で使われています。ASI (人工超知能) も研究中です。IQが低くても、生活の中で上手に使いこなせている方も多くいます。将来は、現在使われている知的障害の概念や定義も変わってくるかもしれません。知的障害の人たちでも、私より上手に使いこなしている方も沢山





しゃべらないでよくと不安やドキドキが収まるので緘黙が固定化します。程度は様々で併存障害や2次障害が多いです。場や人や活動によって程度が変わり長期化しやすいですが、行動療法的関わり方が改善に効果があります。周囲の大人の理解による早期からの支援が大切です。

場面緘黙の子どもの約80%は、家の外では不安や緊張のため無意識のうちに行動を抑制してしまう気質を持っています。前のスライドで紹介した行動抑制的気質です。この気質を持った子は、すべての子どもの15%くらいいますから、皆様の園でもクラスに1〜2人はいると思います。トーマス&チェス博士の慣れるのが遅い子と同じ頻度です。家の外では自分の気持ちを表現することを過度に抑制し、お遊戯会や運動会などでは不安や緊張のため立ったままで何もできないでいる子どもたちです。新しい人や場所や状況に慣れにくさがあり、避けたり泣いたりします。慎重で失敗を恐れるため新しいことへの挑戦を好まない傾向があり、社会性が育ちにくい子が多いです。登園しぶりや不登校、母子分離不安、社交不安、場面緘黙などと関係します。自閉症の特性がある子も新しい場面が苦手なので自閉症と思い込まないようにしましょう。不安と自閉症の両面から見るのが大切です。両者の違いを見分ける方法は、保護者にかでの様子を聞いてみることでです。場面緘黙だけの場合、「家では別人のようによくしゃべる」といいますし、「家ではコミュニケーションには問題がない」と言われます。

場面緘黙の概要

- 1) 発現率は0.2~0.8%。幼児期の発症例が80%
- 2) 不安症の一つ、社交不安症など不安症が多く併存。自閉症併存例が約30%
- 3) 遺伝的な行動抑制的気質や脳の扁桃体の過敏さが下地にあることが多い
- 4) 程度はさまざま。場や人や活動により程度が変わる
- 5) 長期化しやすい。行動療法的な関わり方が改善に効果がある
- 5) 周囲の大人の理解による早期からの支援が大切

イラストでわかる
子どもの
場面緘黙
サポートガイド
アセスメントと
早期対応のための
50の指針 第2版

お勧めの本：金原洋治、高木潤野、合同出版、2018

いので待つてあげる、⑥楽しく自信をつけながら場数を踏む、⑦いじめやからかいから守るなどです。お勧めのサイトは、かんもくネット (<http://kanmoku.org/>) です。

場面緘黙の概要をまとめてみました。私が書いた本、「イラストでわかる場面緘黙サポートガイド」アセスメントと早期対応のための50の指針(合同出版)にも掲載しています。発現率は0.2~0.8%です。不安症の一つに分類され、場面緘黙以外の不安症が多く併存しています。自閉症も30%程度併せ持っています。受身的な自閉症が多いです。生まれつき行動抑制的気質を持った子が集団デビューする時に、不安が強くなりますが、

シャイな子（行動抑制的気質）の子への関わり方

- ・叱咤激励は心や身体を固まらせ萎縮させる
- ・「不安が強いので〇〇させない」というのも考えもの

関わり方・対応

- ①行動療法的対応・スモール・スモール・スモールステップで！
- ②「〇〇は心配だと思っていたら大丈夫だった、今度からは大丈夫だ」と感じることができるようにする
- ③「怖いけど、ちょっと勇気を出してやってみよう」という気持ちにさせ背中を押す
- ④一定の「時」とタイミングが必要。あせらない！

(保育者向け研修講義用テキスト 園で気になる子どもの理解と関わり方、一般社団法人 日本保育保健協議会)

シャイネスと行動抑制的気質

(Kagan, J. : The concept of behavioral inhibition to the unfamiliar. In S. Breznick (Ed.) Perspectives on behavioral inhibition. Chicago: University of Chicago Press, 1989)

- ・恥ずかしがりや照れ屋は心理学ではシャイネスと呼ばれるが行動抑制的気質が強いのが特徴である
- ・行動抑制的気質の子どもは15%いて、新奇の人・場・状況に慣れにくさがあり、避けたり泣いたりする
- ・慎重で失敗を恐れるため、新しいことへの挑戦を好まない傾向があり、社会性が育ちにくい子どもが多い
- ・登園しぶりや不登校、母子分離不安、社交不安、場面緘黙などと関係する

行動抑制的気質の子は、家以外の場所では不安が強い

(保育者向け研修講義用テキスト 園で気になる子どもの理解と関わり方、一般社団法人 日本保育保健協議会)

の頻度が高いのは指しゃぶりと爪噛みで

シャイな子への関わり方についてです。最も大切なことは、「行動の背景に不安があるかもしれない」と考えることです。本当はできるのに、「自分ではできないはずだ」と思い込んでいます。「だいたいようぶだよ」といつてあげても、脳が「だいたいようぶじゃない」と思ってしまうのです。叱咤激励は萎縮させ、心や身体を固まらせますのでやめましょう。逆に、「不安が強いので〇〇させない」というのも考えものです。お勧めは、行動療法的対応で、細かく階段を踏むスモール・スモール・スモールステップの対応です。具体的には、「心配だと思ってい



気になるくせ①

指しゃぶり：胎児期や乳児期から見られるが3歳頃から次第に少なくなり

多くは5～6歳頃になるとやめるようになる。「暇をもてましている時に、気持ちを落ち着かせるためにやっている」と考える。程度がひどい場合は歯並びや噛み合わせに影響を与えることがあるが、遊びが豊かになると自然に止めるようになることが多い。遊びに誘ってあげるくらいのスタンスが良い

爪噛み：3歳過ぎくらいから始まり6歳頃から増加し、10歳頃にピークを迎え次第に少なくなる。少しぐらいの爪噛みは自然に治るので気にしすぎない。

指先が傷になったりささくれだったりするほどひどい場合は、欲求不満、過度の緊張、不安、退屈などのサインの場合もあるので、何か原因はないか考えてみる。本を読んであげたり一緒に遊ぶ時間を増やす

31

気になるくせ②

性器いじり：3歳頃から多くなる。手が性器に届きやすいので男子に圧倒的に多い。痒い時や手持ち無沙汰の時に手が触れて快感を覚え習慣化した状態。しばらくすると自然にやめるようになる。赤くなっていたり痒みがある時には、副腎皮質ホルモン剤などの外用薬を塗ると痒みが治まるし性器いじりも少なくなる

マスターベーション：机の角にお腹や股を押しつける、床にうつ伏せになって全身に力を入れ汗をかいてぼっとするなどの状態。怒ったり注意をしたりしても治らないしひどくなる場合もある。性的快感とは別物で成長過程で見られる癖のようなもの。

強く叱るのはNG。4～5歳頃には消失することが多い

関わり方・対応

①指しゃぶりや爪噛みなどと同じように、遊びに誘う、本を読んであげたり一緒に遊ぶ時間を増やす

②ひどい場合は発達や心身症に詳しい相談機関での相談を提案する

32

チック症

- ・成長期の子どもの10～20%に見られる。男子に多い。
 - ・運動性チックと音声チックがあり、それぞれ、単純性と複雑性に分かれる
 - ・4～11歳の間に発症し、多くは1年以内に治ることが多いが症状に波がある
- ピークは10歳代前半
- ・脳機能の発達（脳のタイプ）が主因。ストレスや緊張により誘発される
- 症状：まばたき、顔しかめ、口すぼめ、肩上げなどが多いが、飛び跳ね、足踏み、咳払い、鼻鳴らし、叫んだり単語を連発する音声チックもある

関わり方・対応

- ①心の負担になっているものがあれば取り除く。負担を軽くする
- ②注意したり叱ったりせずリラックスできるように環境を整える
- ③程度がひどい場合は一時的に薬物療法を行う

(チックトウレット症候群ハンドブック～正しい理解と支援のために、NPO法人日本トゥレット協会)

お勧めのサイト：<https://Tourette-Japan.org>

33

お腹が空いた、疲れたなどの生理的要因、したいができないなど要求や拒否、ねがいと能力のギャップによる矛盾や葛藤によるものなどです。成長の一段階でもあり、気持ちを言葉で表現できない子（発達段階や気質や性格など）に多いです。次のスライドで紹介する、「全ての行動には理由がある」と考えると、と予防や対策が立てやすくなります。安全確保も大切です。まずはクールダウンさせ、落ち着いたら気持ちを聞くようにしましょう。気持ちに名前をつける作業です。予防としては、声掛け、写真や絵カードなどで見通しを提示することや、なぜいけないかを優しく説明する対応がお勧めです。かんしゃくも含め、気になる子どもへ

す。指しゃぶりは、胎児期や乳児期から見られますが、3歳頃から次第に少なくなり、多くは5～6歳頃になると止めるようになります。「暇をもてましている時に、気持ちを落ち着かせるためにやっている」と考えましょう。程度がひどい場合は歯並びや噛み合わせに影響を与えることがあります。遊びが豊かになると自然に止めるようになることが多いので、遊びに誘ってあげるくらいのスタンスがお勧めです。爪噛みは、3歳過ぎくらいから始まり6歳頃から増加し10歳頃にピークを迎え次第に少なくなります。少しぐらいの爪噛みは自然に治るので気にしすぎないようにしましょう。指先が傷になったりささくれだったりするほど程度がひどい場合は、欲求不満、過度の緊張、不安、退屈などのサインの場合もあるので、何か原因はないか考えてみます。保護者には、本を読んであげることや一緒に遊ぶ時間を増やすようにアドバイスします。

次に多いのは、性器いじりやマスターベーションの相談です。性器いじりは3歳頃から多くなります。手が性器に届きやすいので男子に圧倒的に多いです。痒い時や手持ち無沙汰の時に手が触れて快感を覚え習慣化した状態です。多くの場合、しばらくすると自然に止めるようになります。赤くなっている場合や痒みがある時には、副腎皮質ホルモン剤などの外用薬を塗ると痒みが治まり、性器いじりが少なくなります。マスターベーションは、机の角にお腹や股を押しつける、床にうつ伏せになって

全身に力を入れ、汗をかいてぼっとするなどの状態です。怒ったり注意をしたりしても治らないし、逆に、ひどくなる場合もあります。性的快感とは別物で、成長過程に見られる癖のようなものです。強く叱るのはNGです。4～5歳頃には消失することが多いようです。関わり方・対応は、指しゃぶりや爪噛みなどと同じように、遊びに誘う、本を読んであげる、一緒に遊ぶ時間を増やす対応がお勧めです。ひどい場合は発達や心身症に詳しい相談機関での相談を提案しましょう。

チック症は、成長期の子どもの10～20%に見られますが、男子に多い相談です。運動性チックと音声チックがあり、それぞれ、単純性と複雑性に分かれます。4～11歳の間に発症し、多くは1年以内に治ることが多いのですが、症状に波がありピークは10歳代前半です。脳機能の発達（脳のタイプ）が主な原因で、ストレスや緊張によって起こりやすくなります。症状は、まばたき、顔しかめ、口すぼめ、肩上げなどが多いですが、飛び跳ね、足踏み、咳払い、鼻鳴らし、の他に音声チックもあります。関わり方や対応は、心の負担になっているものがあれば取り除く、負担を軽くする、注意したり叱ったりせずリラックスできるように環境を整えます。程度がひどい場合は、一時的に薬物療法を行なう場合があります。お勧めのサイトは、<https://Tourette-Japan.org>です。

かんしゃくの相談も多いです。思い通りにならないと大声で泣き叫ぶ、物を投げる、手足をバタバタさせる、自分を叩くなど感情が爆発した状態です。主な要因は、眠い、

全ての気になる行動には理由があると考える

環境：寒い・暑い・うるさい・イヤな匂い
生理的原因：眠い・腹減った・きつい・痛い
不適切な課題：難しい、わからない
自己刺激行動：こうすると落ち着く
気を引く行動：自分を見て見て
逃避・回避：イヤ、退屈、我慢ができない
気になる：〇〇が気になって仕方がない

その他のチェックポイント

- ①不安、②感覚の問題、③能力・技能
- ④園の環境（クラスの状況など）、⑤家庭の環境

（保育者向け研修講義用テキスト 園で気になる子どもの理解と関わり方、一般社団法人 日本保育保健協議会）

35

かんしゃくがひどい

- ・思い通りにならないと大声で泣き叫ぶ、物を投げる、手足をバタバタさせる
自分を叩くなど感情が爆発した状態
- 主な要因
 - ・生理的要因・要求や拒否・ねがいと能力のギャップによる矛盾や葛藤など
 - ・成長の一段階でもある
 - ・気持ちを言葉で表現できない子（発達段階、性格など）に多い

関わり方・対応

- ①全ての行動には理由があると考え（次のスライド）
 - ②安全確保
 - ③クールダウン、落ち着いたら気持ちを聞く（気持ちに名前をつける）
- 予防：見通し（声掛け、写真や絵カード）を提示
なぜいけないかを優しく説明

34

の適切な関わり方を知るために大切なことは、先ほどお話しした、「すべての行動には理由がある」と考えることです。以下の7つの視点で考えると、子どもの行動が理解しやすく支援のポイントが見つかります。暑い・うるさい・イヤな匂いなどの環境要因、眠い・腹減った・きつい・痛いなどの生理的要因、難しい・わからないなどの不適切な課題、こうすると落ち着くという自己刺激行動、自分を引く行動です。その他のチェックポイントとしては、不安・感覚の問題、子どもと担任の関わり方のミスマッチ、家庭や園の環境などです。

「こだわりが強いのでしたら良いか」という相談も多いです。2〜3歳になると、いつもの場所、方向、順番、物に対するこだわりが強くなる場合があります。世界が広がり、興味や関心が膨らむ一方、自分の知っている世界や安心できるものに「囲まれていたい」という時期でもあり、「いつも通りがいい」という気持ちが強くなる時期です。関わり方や基本的な対応は、こだわりをなくすより活かすというスタンスです。まずは、こだわりが出てくるのは順調な成長の証拠と考えておきます。しかし、「これじゃなきゃダメ」に付き合うには根気が必要です。こだわりは心の杖的役割もあるので、こだわりを尊重することや「将来活

手が出やすい・たたく・ける

自己中心的な面があり、友達と遊ぶ中で自分の思うようにならないと執拗に友達をたたいたり、カーッと追いかけて回し保育者が止めるまでやり続ける

関わり方・対応

- ①できるだけすばやく止めさせ、落ち着く場所に移動させる
- ②他の子には「だいじょうぶだよ」と声をかける
- ③「〇か〜し〜て〜」など他の意思表示の仕方を教える
- ④叩く前の状況を観察し心配がしたら止める
- ⑤養育環境の評価（主因のこともある）

（保育者向け研修講義用テキスト 園で気になる子どもの理解と関わり方、一般社団法人 日本保育保健協議会）

37

こだわりが強い

- ・2〜3歳になると、いつもの場所、方向、順番、物に対するこだわりが強くなる
- ・世界が広がり、興味や関心が膨らむ一方、自分の知っている世界や安心できるものに「囲まれていたい」という時期でもある

関わり方・対応

- ①こだわりが出てくるのは順調な成長の証拠と考えておく
- ②「これじゃなきゃダメ」に付き合うには根気が必要
- ③心の杖的役割でもあるので尊重する。「将来活かせるかも」と考える
- ④確認行為が増える場合は不安が強くなっている時なので環境要因を考える
- ⑤程度がひどい場合は強迫症や自閉スペクトラム症の可能性あり。専門医受診提案

36

かせるかも」と考えてみましょう。確認行為が増えるようなこだわりの場合は、不安が強くなっている時なので環境要因を考えます。程度がひどい場合は、強迫症や自閉スペクトラム症の可能性あるので専門医の受診を提案します。

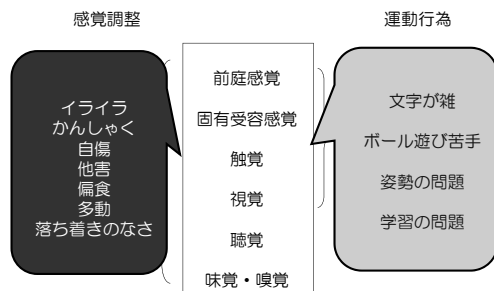
手が出やすい・たたく・ける相談も多いです。例えば、「自己中心的な面があり、友達と遊ぶ中で自分の思うようにならないと執拗に友達をたたくことや、カーッと追いかけて回し保育者が止めるに入るまでやり続けるような場合、どうすればいいか」という相談です。自分の思う通りにやりたいタイプの性格や、気持ちを言葉にして伝えることが苦手な子に多いです。とりあえずの関わり方や対応としては、できるだけ素早く止め落ち着く場所に移動させ、他の子には「だいじょうぶだよ」と声をかける。「〇〇か〜し〜て〜」など他の意思表示の仕方を教え、叩く前の状況を観察し心配がしたら止めることなどを提案します。この他にも、対応の仕方はいろいろあると思います。気質や発達の問題のほかに、養育環境が関係していることもあります。

次に、感覚調整障害と子どもの行動について説明します。感覚の問題を感覚調整障害と言いますが、感覚過敏・回避、低反応（鈍感）、感覚探求に分類されます。感覚過敏の場合は、大きな音を怖がる、赤ちゃんの泣き声を嫌がる、他人から触られるのを嫌がる、歯みがき、散髪、耳掃除を嫌がる、食べ物の好き嫌が多い



発達障害児の感覚処理の問題は 情緒・行動・運動・学習にも影響

(岩永竜一郎：下関発達障害者支援会 2017)



39

感覚調整障害と子どもの行動

感覚過敏・回避：怖がる・嫌がる・逃げる

- ・大きな音を怖がる。赤ちゃんの泣き声を嫌がる・その場を離れる
- ・他人から触られるのを嫌がる。歯みがき、散髪、耳掃除などを嫌がる
- ・食べ物の好き嫌が多い

感覚防衛行動

低反応（鈍感）

- ・呼んでも振り向かない。痛みを訴えない
- ・目が回らない。頭を床に打ち付ける

感覚探求：刺激を入れる・求める

- ・水遊びを止めない。なんでも手で触ったり口に入れる
- ・自分を叩く・かむ。光る物を見続ける。匂いを嗅ぐ

(保育者向け研修講義用テキスト 園で気になる子どもの理解と関わり方、一般社団法人 日本保育保健協議会)

38

などの症状や行動が見られます。これらは、不快な感覚から自分を守る自己防衛行動でもあります。低反応（鈍感）は、呼んでも振り向かない、痛みを訴えない、目が回らない、頭を床に打ち付けるなどの行動が見られます。

感覚探求の場合に見られる行動は、水遊びを止めない、なんでも手で触る、口に入れる、自分を叩く・かむ、光る物を見続ける、匂いを嗅ぐなどです。

感覚処理の問題は、情緒や行動、運動や学習にも影響を及ぼします。触覚・視覚・聴覚・味覚・嗅覚の5感以外に、平衡感覚や体を上手に動かす時に必要な固有受容感覚があります。図の左側は7つの感覚が関係しており、感覚調整障害があると、イライラ、かんしゃく、自傷や他害、偏食や多動など情緒や行動に影響を及ぼします。右側の図の前庭感覚や固有知覚、触覚、視覚の調整障害がある場合には、手足の位置感覚がつかめない、ボデーイメージが保てない子が多く、小学校入学後、運動企画や協調運動が苦手なため、文字が雑、姿勢が保てない、ボール遊びや運動が苦手、不器用など、運動学習にも影響を及ぼします。

我々も、5感を通して周囲の状況をキャッチし道標にしながら日々の生活を送っています。

それぞれ好きな味、色、音、匂いがあり苦手なものもありますが、成長とともに変化します。感覚調整障害（過敏、低反応・鈍感、探求など）を持つ大人もい

人は様々な方法で不安を表現する

(飯西勇夫：社会不安障害、現代のメンタリ第480号、至文堂、2007)

- 1) 不安の対象が明確で不安そのものを表現
- 2) 不安の対象が不明確で漠然とした不安の存在を表現
- 3) 不安そのものを表現しないがイライラ感で表現
- 4) 周囲の人達に対する甘えや我が儘などの退行で表現
- 5) 周囲の人達に対する攻撃性や敵意性で表現
- 6) 不安に基づく強迫的な訴えや確認行為で表現
- 7) 原因不明の身体症状で表現
- 8) 心気的な訴えで表現
- 9) 薬、酒、食に対する嗜癖
- 10) 回避行動（金原が追加）

幼児期は不安を言葉で表現できず行動で表現

(保育者向け研修講義用テキスト 園で気になる子どもの理解と関わり方、一般社団法人 日本保育保健協議会)

41

感覚の問題が強い

- ・人は様々なセンサー（センサー）を通して、それを道標にして生きている。
- ・五感、平衡感覚、固有受容感覚、内臓感覚、共感覚、超感覚、第6感・・・
- ・それぞれ好きな味、色、音、匂いがあり苦手なものもあるが成長とともに変化する
- ・感覚調整障害（過敏、低反応・鈍感、探求など）を持つ大人もいるが、困らないように工夫しながら生活している
- ・4～6歳児は5%～13%に感覚調整障害を持っている

関わり方・対応

- ①気になる行動が感覚の問題からくる可能性を考えてみる
- ②無理矢理、慣れさせることはしない
- ③「不快なことから身を守る防衛行動」と考え配慮し、対策を考える
- ④代替活動に転換。他の刺激に注意を向ける
- ⑤わかりやすく見通しを示す

(参考：保育者向け研修講義用テキスト 園で気になる子どもの理解と関わり方、一般社団法人 日本保育保健協議会)

40

ますが、困らないように工夫しながら生活しています。4～6歳児は5%～13%に感覚調整障害を持っています。感覚の問題がある子は発達障害だと勘違いしないようにしましょう。関わり方や対応は、気になる行動が感覚の問題からくる可能性を考えてみることです。無理矢理、慣れさせることは拷問に近いのでしてはいけません。「不快なことから身を守る防衛行動」と考えて対策を考えてください。また、代りの活動に転換し他の刺激に注意を向けさせることや、わかりやすく見通しを示すことも大切です。

次は不安の問題です。スライド41のように、人は様々な方法で不安を表現します。子どもは人生経験が少ないため周囲の状況や見通しが立てにくいので不安が強いですし、気持ちを言葉で表現できないので行動や身体症状で表現します。幼児期にはイライラ感、甘えや我が儘などの退行（赤ちゃん返り）がよく見られます。攻撃性や敵意性は不安で心に余裕がないための行動です。強迫行動（こだわり）や確認行動、頭痛や腹痛などのように身体症状や回避行動などで不安を表現する場合もあります。気になる行動の背景に不安があると考えると、子どもにどのように関わったら良いのがわかってきます。子どもは、発達段階や環境の変化により、不安が強くなったり弱くなったりしながら成長します。

不安は悪者ではなくて、人間が今まで生き延びるために身に付けてきた、大切

不安が強い

関わり方・対応

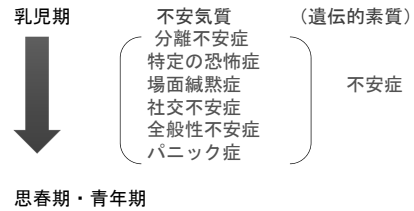
- ①行動の背景に不安があるかも考える
- ②気持ちを受け止め、ゆっくり話を聞く。「そうなんだ」がお勧め
- ③ハードルを下げて成功体験を重ねる（楽しく場数を踏む）
- ④叱咤激励は心や身体を固まらせ萎縮させる
- ⑤「不安が強いので〇〇させない」と言うのも考えもの
- ⑥「心配だと思っていたら大丈夫だった・今度からは大丈夫だ」と感じるように
- ⑦「怖いけど勇気を出してやってみよう」という気持ちにさせ、背中を押す
- ⑧一定の「時」とタイミングが必要。あせらない！

（保育者向け研修講義用テキスト 園で気になる子どもの理解と関わり方、一般社団法人 日本保育保健協議会）

43

不安症の種類と発症時期

- ・素質・環境・体験が影響し合って発症
- ・日常生活に支障をきたす場合に不安症と診断
- ・不安の程度は様々で正常と不安症の間の境界はない



（保育者向け研修講義用テキスト 園で気になる子どもの理解と関わり方、一般社団法人 日本保育保健協議会）

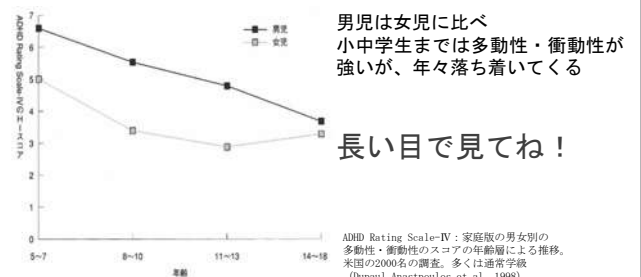
42

なものです。正常の不安と不安症の間に境界線はありません。不安症は、素質と環境の相互作用で発症します。不安が強くなり日常生活に支障を来すようになった場合に不安症と診断します。元々は不安が強くなかったのに、ある体験をきっかけに不安症が発症する場合もあります。スライド42のカッコの中の6つは、不安症を発達段階別に書いたものです。幼児期には、分離不安症は最も多く見られますが、特定の恐怖症、場面緘黙も多くみられます。小学生になると社交不安症、全般性不安症もみられることが多くなり、思春期になるとパニック症もみられます。不安が強い子どもの関わり方や対応は、まずは、行動の背景に不安があるかもと考えることから始めます。気持ちを受け止め、ゆっくり話を聞いて上げましょう。ただし、不安をほじくり返すような聞き方はしないでください。話してくれたときにかける言葉は、「そうだったの」「そうなんだ」など「そ」のつく言葉がお勧めです。そして、ハードルを下げて成功体験を重ねるようにしましょう。楽しく場数を踏む対応です。叱咤激励は心や身体を固まらせ萎縮させます。「不安が強いので〇〇させない」と言うのも考えものです。「心配だと思っていたら大丈夫だった、今度からは大丈夫だ」と感じるように、「怖いけど勇気を出してやってみよう」という気持ちにさせ背中を押す対応がおすすめです。不安が改善するには、一定の「時」とタイミングが必要です。

全ての子どもの未来のために役だつと思うこと

45

多動性・衝動性の性差 幼児期の男子は落ち着きがない



44

あせらないようにしましょう。行動抑制的気質の子どもと同じスタンスです。このコーナーの最後のスライドです。この図は、ADHDの質問紙を作成するためにDapaul博士らが実施したアメリカの子ども2000人を対象にした調査結果です。多くの子どもは通常学級に在籍している子どもたちです。男の子の場合、女の子に比べ小中学生までは多動性・衝動性が強いですが、14～18歳になると性差がなくなります。日本の子どもの場合も同じです。男の子は、小学校や中学校の間は、長い目で見て上げてください。最後のコーナー、「全ての子どもの未来のために役だつと思うこと」、についてのお話です。全ての子どもへの関わり方で大切なことは、得意を増やすことや伸ばすことに重点をおくことです。そのポイントは、次の3つです。1つ目は、できないこと探しではなくていいところ探しをすることです。得意を伸ばすことと苦手をなんとかすることの両方でできればいいのですが、苦手なことをなんとかするのは、明日75歳になる私にも難題です。得意を伸ばすが8割・苦手を困らないようにするが2割のバランスが大切です。2つ目は、いいところを引き出す環境づくりです。集中しやすく、見通しが持ちやすく、指示がわかりやすい環境にすることです。3つ目はチクチクことばよりフワットことばで笑顔を増やす取り組みです。「ダメ」



行動だけ切り取って見ない！

- 1) 環境や生きてきた歴史に思いを馳せる
- 2) たとえ発達障害の特性の一つであっても「弱みばかりではなく視点次第では強みになる」と考える
- 3) その特性は「子ども時代には弱みに見えても大人になった時には強みになるかもしれない」と考えながら保育する

47

得意を増やす・伸ばす！

- ①できないこと探しではなく、できること・いいところ探しをする
 - ・得意を伸ばすが8割・苦手を困らないようにするが2割
- ②いいところを引き出す環境づくりをする
 - ・集中しやすく・見通しを持ちやすく・わかりやすく
- ③チクチクことばよりフワットことばで笑顔を増やす
 - ・「〇〇しちゃダメ」はできるだけ少なく
 - ・「～して見よう・やってみよう・一緒にやろう」を多く
 - ・さすが、すごい、ステキを多く

《阿部利彦：発達障がいを持つ子の「いいところ」応援計画、ぶどう社を参考にして著者が作成》

46

という言葉掛けはできるだけ少なくし、「〇〇してみよう、やってみよう、一緒にやろう」などの言葉に言い換えることが大切です。私は「す」のつくことばを多く掛けることをお勧めしています。「すごい、すてき、すばらしい」など、3つの「す」です。

子どもを見るときに大切なことを3つ挙げます。1つ目は、子どもだけを切り取ってみないで、現在の家庭の状況や「どのような育ててきたのか」ということに思いを馳せることです。2つ目は、たとえ発達障害的な特性の一つであっても、例えば、こだわりの強さがあっても、「弱みばかりでなく見方によっては強みかもしれない」という視点で見ることです。3つ目は、「子ども時代には弱みに見えても大人になった時には強みになるかもしれない」と考えながら保育することです。

私たちは、こうすればうまくできるところを積み重ねて自分の人生を生きていきます。トリセツづくりは、よりよく生きるための対処方法をつくることです。トリセツのつくり方や使い方は、幼い頃から下準備をしましょう。そのために大切なのは、自己理解、うまくできるための工夫、人に頼る力を身につけさせることの3つです。具体的には、できること探しをして「こうすればできる・うまくいく」方法を探すことです。得意なこととはどんな伸ばし、苦手なことは「こうすればできる・上手くいく」方法を考え実行する、効果がなかったものは、別の方

見方を変えて子どもの味方に！

・誰にでも得意・不得意があり、それを長所と考えることもあれば、短所と考えることもある。全ての短所は長所に置き換えることができる

見方を変え脳の感じ方を変える方法がリフレーミング

リフレーミングの方法

①大人が自分自身の苦手なことや短所と思うことを書く・言う

②子どもと一緒に、肯定的な見方で置き換える。ゲーム感覚で取り組む

例：多動/活発、甘えん坊/愛されキャラ、心配性/慎重、おしゃべり/社交的
意見がいない/控えめ、物をよく失くす/物に拘らない

お勧めのツール

- ・リフレーミングカード（ネガポジカード）創造カフェ
- ・リフレーミング辞典



49

こうすればできる・上手くいく！

- ・トリセツづくりは、よりよく生きるための対処方法をつくること
- ・大切なのは、①自己理解、②うまくできるための工夫、③人に頼る力

トリセツのつくり方・使い方 * 幼い頃から下準備をする

①得意なことはどんどん伸ばす

②苦手なことは「こうすればできる・上手くいく」方法を考え実行する

③効果がなかったものは別の方法を探し試す（アップデートする）

お勧めの本：ほくのトリセツ、さく：のぶみ、監修：竹内エリカ、講談社

48

法を探し試す（アップデートする）ようにしましょう。

トリセツづくりをする際には、リフレーミングも大切です。誰にでも得意や不得意がありますし、同じ特性でも、それを長所と考えることもあれば、短所と考えることもあります。全ての短所は長所に置き換えることができます。見方を変え脳の感じ方を変える方法がリフレーミングです。リフレーミングの方法は、①大人が自分自身の苦手なことや短所と思うことを書く・言う、②子どもと一緒に、肯定的な見方で置き換えるなどのゲーム感覚で取り組むことをお勧めします。リフレーミングの例は、多動/活発、甘えん坊/愛されキャラ、心配性/慎重、おしゃべり/社交的意見がいない/控えめ、物をよく失くす/物に拘らない、などです。勧めのツールは、リフレーミングカード（ネガポジカード）、リフレーミング辞典です。

心のレジリエンスを高める保育も大切です。全ての人が、長い人生の中で、いくつもの予期せぬ不幸なできごとに出会いますが、このような体験から立ち直る力がレジリエンスです。子どものレジリエンスを高めるための条件は、①「自分はいじょうぶ」という感覚を育む、②「失敗してもまたやろう」という気持ちで育てる、③助けを求め・甘えることができると感じるような関わり方、④指示してくれる人が一人でも多くいる、などです。大切なのは、子どものレジリ

心と身体を自分でコントロールできる子に！ 子どもと一緒にやるマインドフルネス

- ・私たちは、過去の失敗や未来の不安などネガティブなことを考える時間が長く自分で不安やストレスを強くしがちである
- ・目の前のことに集中する方法がマインドフルネス。呼吸法と瞑想
- ・自分の心と身体をコントロールできる。自律神経が調整できる
- ・寝る前や朝起きた時、活動・授業のはじめの数分間でできる YouTubeもある



お勤めの本

心が落ち着き集中力が高まる！子どものためのマインドフルネス（キラ・ウイリー著、大前泰彦訳、創元社）



51

心のレジリエンスを高める！

全ての人が、長い人生の中で、いくつもの予期せぬ不幸なできごとに出会う。このような体験から立ち直る力がレジリエンス

子どものレジリエンスを高めるための条件

- ①「自分はだいじょうぶ」という感覚を育む
- ②「失敗してもまたやろう」という気持ちを育てる
- ③ 助けを求め・甘えることができると感じる
- ④ 指示してくれる人が一人でも多くいる。多いほど良い

子どものレジリエンスを高めるためのヒント・言葉

- ・「あなたはできる・だいじょうぶ」と何度も言う

50

エンスを高めるための言葉、「あなたはできる・だいじょうぶ」と何度も何度も繰り返すことです。

今まで、行動が気になる子や、全ての子どもへの関わり方について、お話ししてきましたが、いつまでも、大人がいつでも助けてくれるわけではありません。自分の心と身体を自分でコントロールできる子どもに育てることが大切です。私が、外れでお勤めしているのが、子どもと一緒にやるマインドフルネスです。私たちは、過去の失敗や未来の不安などネガティブなことを考える時間が長く、自分で不安やストレスを強くしがちです。目の前のことに集中する方法がマインドフルネスで、呼吸法と瞑想のイメージです。いつでもどこでも短時間で自分の心と身体をコントロールできるし、自律神経を調整することができます。寝る前や朝起きた時、活動・授業のはじめの数分間で、どこでも場所でも、道具は必要なしに行うことができる方法です。お勤めの本は、「心が落ち着き集中力が高まる！子どものためのマインドフルネス」（キラ・ウイリー著、大前泰彦訳、創元社）です。この本には、30のエクササイズがわかりやすく掲載されています。年長児ならできる子もいます。園や学校では、瞑想タイムとして実施しているところもあるようです。小学生以上の子どもには、マインドフルネスのYouTubeを紹介し親子で取り組むようにお願いしています。今から、みなさんと一緒にやってみ

しよう。

最後に、夏目詳子さんの「子どもたちへ」という詩を紹介いたします。

子どもたちへ

- ・あなたは生きているだけで満点です。そのことを知っていますか。
- ・ときどき、大人は生きているだけで満点です。そのことを忘れるのです。でも、あなたは生きているだけで満点です。そのことを覚えてください。
- ・「私は生きているだけで満点なのよ」「僕は生きているだけで満点なんだ」とね
- ・なぜなら、私たちはみなこの世で生きるために生まれてきているからです。ですから、生きているだけで満点です。
- ・あとそれはそれぞれ一人ひとりが喜びのある冒険をいっぱいしてこの世の終わりを学ばなければいけません。
- ・満点のあなたが、まず、したい冒険はなんですか。

（生きているだけで満点、夏目詳子著、ポカラ出版）

52

あなたは生きているだけで満点です。そのことを知っていますか。ときどき、大人はそのことを忘れるのです。ですから、あなたは自分で自分の心に言うてあげてください。「私は生きているだけで満点なのよ」「僕は生きているだけで満点なのよ」「僕は生きているからそれだけで満点なんだ」とね。なぜだと思いませんか。なぜなら、私たちはみなこの世で生きるために生まれてきているからです。ですから、生きているだけで満点です。あとそれはそれぞれ一人ひとりが喜びのある冒険をいっぱいして、この世のことを学ばなければいけません。満点のあなたが、まず、したい冒険はなんですか。

ご清聴ありがとうございました。

参考資料

1. 一般社団法人 日本北保健協議会…保育者向け研修講義用テキスト園で気になる子どもの理解と関わり方、2019
2. 金原洋治、高木潤野…イラストでわかる子どもの場面緘黙サポートガイドアセスメントと早期対応のための50の指針―、合同出版、2018
3. かねはら小児科院内報すくすく かねはら小児科HPよりダウンロード可能
21号、37号、40号、47号、52号、55号、56号、58号、64号、67号、86号、94号、95号、96号、97号、98号



気になる子どもを伸ばす保護者への支援

～ペアレント・トレーニングの視点から～

心身障害児総合医療療育センター 小児科医長

長瀬 美香

皆様、こんにちは。心身障害児総合医療療育センターの小児科の長瀬と申します。

今、岡先生からお話がありましたが、私は東京の板橋区、人口は57万ぐらい、お子さんの1年の出生が4,500人ぐらいの地域ですが、そこで病院の勤務をしています。あとは板橋区の子どもの発達支援センターというところですが、お子さんたちの10%ぐらいが御相談にいらつしやいます。障害でなくても、子育てに気がかりのあるお子さんたちがいらつしやります。心理や言語療法の先生

たちがまずは御相談をして、私はお困りの御様子についてのカンファレンスに参加させていただくというような形で、本当にいろいろな御相談があり、みんなで日々考えています。



それから、保育園の指導員などもさせていただいています。私の病院は肢体不自由の入所施設がありまして、社会的養護のお子さんで、虐待を受けて障害になった方もいらつしやれば、障害があることでなかなか子育てが大変ということで、私たちのところですと生活をしているお子さんたちがいます。そのお子さんたちを育てる中で、やはり日々いろいろな文句を言う子もいれば、かんしゃくを起こす子もいるということで、日々、保育士さんや看護師さんとお子さんたちが伸び伸びといろいろなことを受け止めてもらって、育つようにということと考えてきました。その中で、ペアレント・トレーニングの手法をみんなで使ったところと

今日資料として配付させていただいているカラーのリーフレットですが、これは施設の中で、集団の、多くのスタッフさんが多くのお子さんに関わるときに、実はこの方法を結構利用できるかなという、経験をしまして、それを基に、板橋と近くの埼玉の4つぐらいの市の保育士さんたちにお声かけをして、みんなで勉強会をしたことで出来上がった資料になります。そんなところで外来の親御さんだけではなくて、お子さんに関わる人たちとペアレント・トレーニングをしてきたので、そんな視点でお話をさせていただければと思っています。1時間近く、よろしく願っています。

「気になる子どもを伸ばす保護者への支援～ペアレント・トレーニングの視点から～」

本日の内容

1. ペアレント・トレーニング（以下、ペアトレ）とは
2. 施設職員による子ども・家族支援
ティーチャーズトレーニング（以下、ティートレ）
3. ペアトレ（ティートレ）のプログラム
行動とは
ABC分析
行動を3つに分類する
肯定的な注目をあたえる（ほめる）
環境調整
否定的な注目をしないで待つ
指示
4. 人間関係の中で育つ
愛着、虐待、治療的養育

2

公益財団法人 母子健康協会 第45回シンポジウム

気になる子どもを伸ばす保護者への支援

～ペアレント・トレーニングの視点から～



2025年1月31日



心身障害児総合医療療育センター 小児科・小児精神科
板橋区子ども発達支援センター センター長
長瀬美香

1

ペアレント・トレーニングとは

保護者や養育者の方を対象に、行動理論をベースとして環境調整や子どもへの肯定的な働きかけをロールプレイやホームワークを通して学び、保護者や養育者のかかわり方や心理的なストレスの改善、お子さんの適切な行動を促進し、不適切な行動の改善を目的とした家族支援のアプローチの一つです。

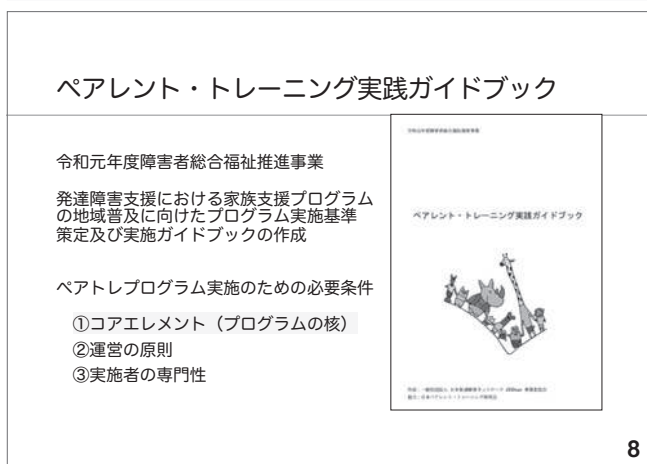
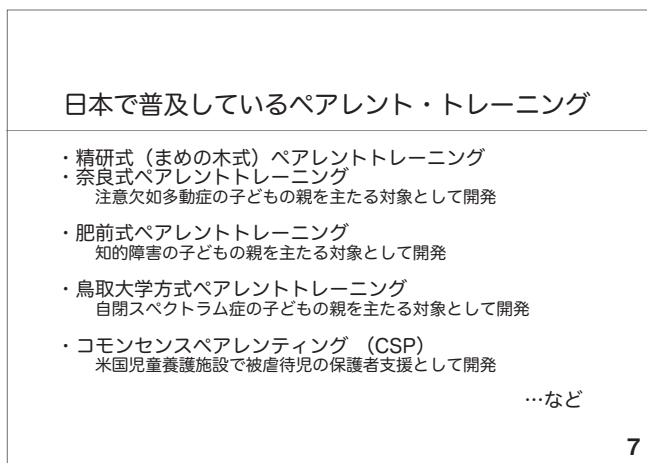
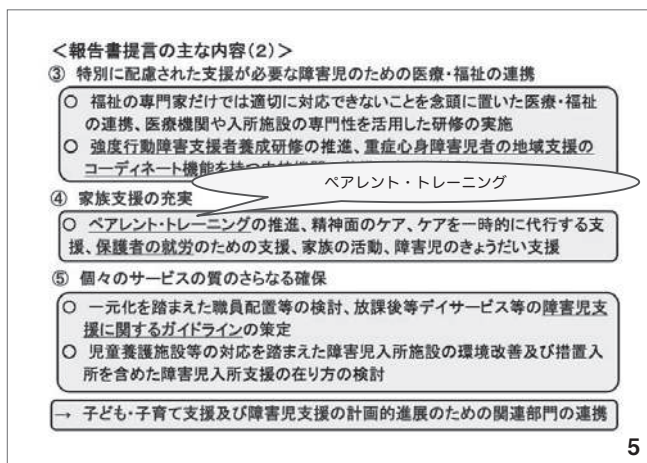
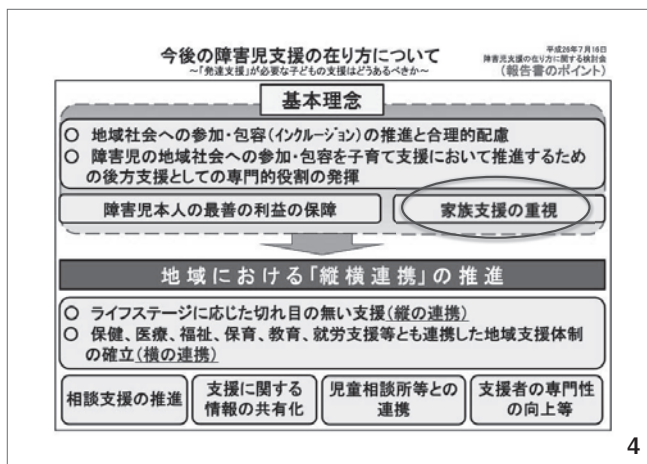
厚生労働省HP 発達障害者支援施策の概要より

親子のコミュニケーションをスムーズにし、よりよい親子関係を築き、親子それぞれの自己評価の低下を防ぐ

障害児支援のみでなく、子育て支援、虐待予防としても利用

3

ということでお話しさせていただきます。まず、ペアレント・トレーニングも随分広がってきているんですけども、ポイントとしては厚生労働省のホームページにあります。行動理論をベースに行動で見るといって、さっき先生からお話がありましたように、見える行動だけでなく背景も大事です。もちろん、そこも行動で見えていくことになるんですけども、性格とか、能力とかというところではなく、その子が何をしているかな？、そこから見つけていくというような考え方です。そこで、環境調整とか肯定的な働きかけとかを親御さんたちとロールプレイとか、宿題を実際にやってみよう、ということをしてながら学んでいきます。関わり方を学んだり、親御さん

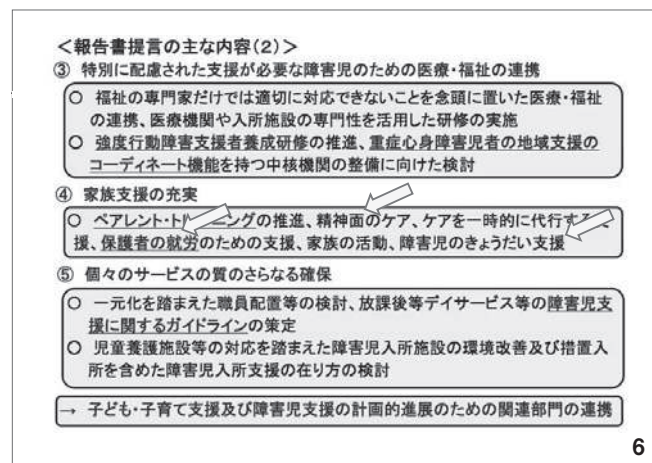


の心理的なストレスを改善するため、何かをやることで親御さんが大変になっしまわれないようにするという、そういったところが大事です。お子さんについても適切な行動を促がされ、不適切な行動が減るということを目指す、そういうアプローチです。よりよい親子関係につながるものが目指すところですね。もともとは障害児支援のために開発されているものなんですから、今は子育て支援とか虐待予防で地域の市区町村でもどんどん進んでいるところかなと思います。

障害児支援の在り方ということでありますが、家族支援の重視ということで、その中でペアレント・トレーニングというのが最も先に出てきました。ですので、障害に関わる方たちはペアレント・トレーニングというのを知っておいただきたいなというのがまずあります。

このペアレント・トレーニング、保護者の就労にも役立ちます。今日は、まさしく保育園の先生たちが多く参加してくださっていると思いますが、保護者が安心してお子さんを預けられる場所があるということがすごく大事で、そこに対して皆さんがお子さんに対するペアトレのスキルを知ってもらいたいと思います。

それから、親御さんの精神面のケア。それから、障害のお子さんだけではなく、兄弟の支援にもつながる。こういったところをペアレント・トレーニングの方法を使いながらやっていただけるかな、なんていうふうに思っています。

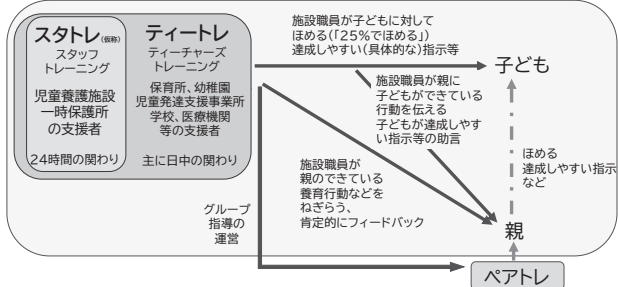


日本では、いろいろな何とか式というペアレント・トレーニングがいっぱいあります。

私は精研式をまずは学んだのですが、今は何々式という国で広めていきにくいので、いろいろな方法の専門家たちが集まって、こういう実践ガイドブックというのを令和元年度に作りました。

その中で、何が大事なのか、絶対に入れたほうがいい要素は何かということで、コアエレメントというのを6つ考えました。後でやりますが、行動を理解するというところで、ABC分析、子供の行動を主に3つにタイプ分けして、その中でよいところを探します。金原先生からお話がありましたけれども、よいところを見つけて褒めていくこと。それから、よい

施設職員による子ども・家族支援(ペアトレの育児助言、精神面ケア、ケア代行)



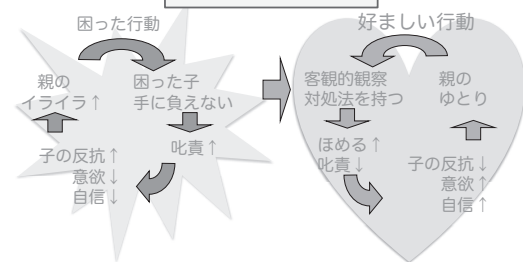
14

お友達を叩かないようにおうちで言って下さい

もっとほめてあげて

おこりすぎないで

どうしたらいいの!



13

育所とか幼稚園とか学校の先生たちがこのペアトレのスキルを使うということです。本もティートレという表現で出始めてきています。

私は仮称と書いて、スタッフトレーニングとしていますが、実は児童養護施設とか保護所とか虐待を受けているお子さんたちの支援でもこの方法を使っています。後でちらっとだけお話ししますが、より人との関係で傷つきが多く、スルーされたりすると非常に気持ちがざわついてしまうというような、そういったようなお子さんたちを1日中見ていかなければいけない。そういうところでは、支援者のいろいろな知識だったり、ペアトレの方法も少し工夫しなければいけないので、その辺でスタトレなんていう形で勉強会をしています。

今日は、そのスタッフさんたちがお子さんに関わったり、親御さんに関わるのにどう使うかなんですけれども、まずは皆さんが目の前で、保育されているところで、お子さんのここがいいなというところをちよつと早めのタイミングでいっぱい褒めてあげたり、それから何かやってほしいときにこういう指示をするとすんなり行きやすいとか、成功しやすいなという、そういう具体的なことをペアトレのスキルを知って、お子さんに関わってくださいと、子供の行動が改善したり子供に保育園で自信を持ってもらえるようになります。さっきお話がありましたけれども、育てにくいお子さんを育

保育士向け：ティーチャーズトレーニング (精研式)

保育士・教師のためのティーチャーズ・トレーニング
発達障害のある子への効果的な対応を学ぶ

上林靖子監修
河内美恵・橋田絵美・福田英子編集
中央法規出版



「子どもたちに肯定的な注目を」

平成20年度障害者保健福祉推進事業
発達障害児に対する早期からの地域生活を効果的にするための調査研究

心身障害児総合医療センター
日本肢体不自由児協会 療育図書のページより
ダウンロード可能



15

褒めてもらえると、親御さんたちは本当にうれしんですね。なので、そういうふうにしてもらう。それから親御さんに対して、親御さんが子供さんにうまくできていそうなど、完璧ではないけれどもちよつとでもやろうかなと思ったり、子供さんが親御さんの関わりで喜んでいそうだというのを保育の帰りのところに見えたりとかしたら、親御さんができているところ、よい行動をねぎらったり、肯定的にフィードバックをしてあげたりする。「お母さん、子供さんこういうふうになってもらってうれしそうです、ねえ、何々ちゃん。」と言う。そうやって、いろいろな方法がふだんから使えるようになってくたさたら、ペアトレグループ運営した時質問が出たら何でも答えられるような力になると思うので、いつかそういうようなことにならなくて、多くのお母さんたちを支援してもらえたら、なんて思いながら、先生方にペアトレを御紹介しています。このような参考資料があります。お配りしているのは、このリーフレットです。ちなみに、挿絵の僕ちゃんは私の息子の小さいときです。保育園の先生たちには本当にお世話になっていたので、その時の感謝も込めながらこういう会でお話しさせていただいています。

では、早速ペアトレの内容に入りますけれども、ペアトレのプログラムです。まず、行動とはということとABC分析、行動を3つに分けたりすること、褒める、環境調整、否定的注目をしないで待つ、指示というような内容をこの後やっていきます。

てやすいお子さんに変えていただけないという可能性が、先生たちの支援で、保育でそういうふうな可能性が本当に大きくなるのではないかなと思っています。

さっきお話したように、こういうふうにするのとちよつとやりやすいかも、親御さんによって、それができる環境かどうかとか力とかもあると思うんですけれども、そこはまたお母さんたちがやりやすい形で、これならできるかなと思うようなことをお伝えしてもらったり、「子供さんはこういうこともできるようになりましたよ」というふう具体的に言ってもらえる、できないことばかりではないというふうにも思ってもらえると、ふだん怒っていても誰かに自分の子供たちを



行動とは

行動とは
目に見える、きこえる、数えられる、
「～する」

読んだ人が
演じられるように
書く

伝えられた
子どもが
わかりやすい
行動しやすい

(例)
花子ちゃんは優しい

行動で書く

→他児におもちゃを貸す：見える
他児が転んだ時に「大丈夫？」と声をかける：きこえる

宿題をちゃんとやらない

やらない代わりに何してる？

→3分宿題したら筆箱で遊び始める

17

本日の内容

- 1.ベアレント・トレーニング（以下、ベアトレ）とは
- 2.施設職員による子ども・家族支援
ティチャーズトレーニング（以下、ティートレ）
- 3.ベアトレ（ティートレ）のプログラム
行動とは
ABC分析
行動を3つに分類する
肯定的な注目をあたえる（ほめる）
環境調整
否定的な注目をしないで待つ
指示
- 4.人間関係の中で育つ
愛着、虐待、治療的養育

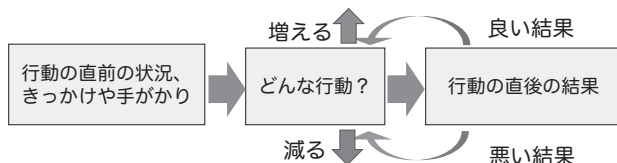
16

行動とはですけれども、これは目に見える、聞こえる、数えられる、何々するというふうには、動詞で書くものになります。例えば、「花子ちゃんは優しい」は行動で書くと、ほかの子におもちゃを貸すとか、ほかの子が転んだら「大丈夫？」と声をかけるということですね。花子ちゃんは優しいと言ったときに、皆さんが優しい花子ちゃんを想像した場合様々な場面になると思うんですね。だけれども、おもちゃを貸すと言ったらそれが見えてくるのではないかなというふうに、同じものが見えてくるのではないかなと思います。そういうイメージの「行動で書く」です。宿題をちゃんとやらないなんていう感じだったら、やらない代わりに何をしているのかなというところで、3分宿題をしたら筆箱で遊び始める」というのがちゃんとやらないというものになるわけです。そうすると、5分やったら今日は頑張ったみたいになるかもしれません。ということ、数というのはこういった内容です。

何で具体的にこう書くか、読んだ人が演じられるようにというふうにお話したかというところ、子どもに「ほかの子におもちゃを貸してあげて花子ちゃん優しいね」と言ったら、おもちゃを貸したら優しいと言ってもらえるんだということがそのままストレートに分かるわけです。なので、伝えられた子供が分かってその行動を再現しやすい、何を言っているのか分かるということです。何がいいこ

ABC分析 行動を理解するための「行動のしくみ」

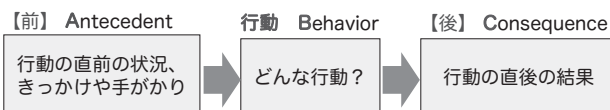
子どもにとって良い結果になると、その前の行動は増える



子どもにとって悪い結果になると、その前の行動は減る

19

ABC分析 行動を理解するための「行動のしくみ」



- ポイントは、「A⇒B⇒C」の3つの箱に分けること
- 子どもの行動は子どもだけによつてうまれるのではなく、周囲の状況や関わり方で変化します。
- 問題が起こりやすい場面、好ましい行動が生まれやすい場面を予測することで、好ましい行動を増やして、困った行動を減らすためのヒントが見つかります

18

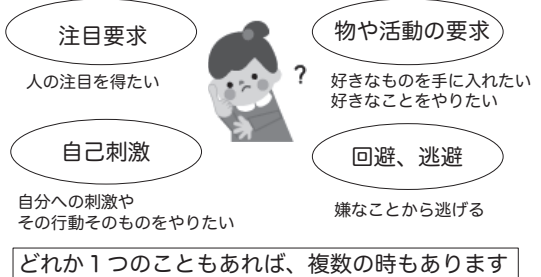
となのことも分かります。ということ、行動として捉えることが大事です。

その行動なんですけれども、行動の仕組みはA、B、Cというふうに、ちょうど英語の頭文字で分けるんですけれども、お子さんの行動というのは行動の直前の状況やきっかけや手がかりがあって、行動が生まれます。子供だけでやっているものではありません。その行動を何でいっぱいするのかと思ったら、その後の結果でその行動が増えたり減ったりするんだということ、こういうふうにお子さんの行動があったときにA、B、Cと3つの箱に分けてみるということをします。子供の行動は子供だけによつて生まれるのではなく、周囲の状況や関わり方で変化します。問題が起こりやすい場面、好ましい行動が生まれやすい場面を予測することで、好ましい行動を増やして困った行動を減らすヒントが見つかります。

このA、B、Cは分けるのが難しいかもしれませんが、難しいんですけれども書いてみると、いつもではないんですとかそういうことはよくあると思うんですけれども、どうしてかな、今日は月曜日だとか、それから、今日は行事の練習の日だとか、そういったこともあるし、何々ちゃんと遊んでいるときなんだとか、何々先生が関わったときなんだとか、何の活動をしていただとか、そういったことが分かって、このときにこういう行動が出ますよというふうになると、10個



子どもの行動の意味 4つの機能



20

ぐらい書いているとだんだん見えてくる
ことがあつたりします。また、お子さん
の行動というのは、直後の結果がお子
さんにとってよい結果だったら、これは私
たちにとってではないんです、お子さん
にとってよい結果だったらその行動は増
えるし、悪い結果だったら減るとい
うになります。後で、またお話ししま
す。

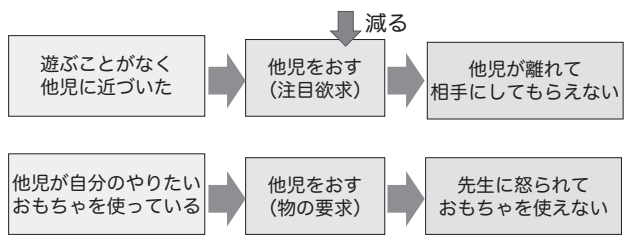
もう一つ大事な行動の捉え方なんです
けれども、お子さんのやっている行動の
意味、何かするときに人の注目を得たい
という場合だったり、そのものや活動
をしたいという場合だったり、あとそれ
自体が好きという感覚刺激とかそうい
ったものだったり、それから何かから逃
げたいとき、大きく分けるとこの4つにな
ります。

ます。子供の行動は子供にとっていい結果かどうかというふうにさつきお話ししま
した。この目的にかなっているか、かなっていないかで、お子さんの行動というのは増
えてくるかもしれないし、このために行動している可能性があるのでそれを教えて
いってあげるといことが必要になってきます。一つのことあれば、複数のことも
あります。

例えばなんですけれども、誰かさんを押すというようにことがあつたときに、遊ぶ
ことがないので他児にふらふらと近づいてドンみたいな感じだったりして、怒った他
児に追いかけられたら追いかけるようになったみたいなことが楽しいとか。おもちゃを
使うときにドンと押したら使えたというので押せばもらえる、使えらる。遊ぶこ
とがなく歩いていて、刺激が好きなのでドンみたいな感じがそのままだに誰も反応
しなくても押しているとか、そういうぶつかる感覚が楽しい。あと、おもちゃで遊ん
でいて片づけるよう他児が注意してきたのでドンと押したらあつちに行ってくれ
たので遊び続けられたみたいな、そんな感じです。

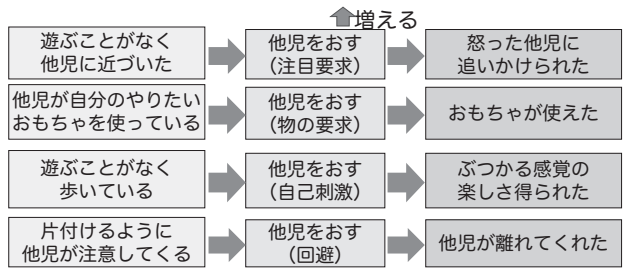
逆に、押したらほかの子が離れてしまつて、相手にしてもらえなかつたらしようが
ないのもうその子にはしないとか、違う子のところからふらふらと行ってしまふかも
しれないですし、怒られて貸してもらえなかつたなら押さないで。だから
私たちはこの方法を使うんです。そうなんだけれども、別にそれ以外の方法もある

結果により子どもの行動が減る



22

結果により子どもの行動が増える



21

かもしれないというのは、この後やって
いきます。

そういうふうには、誰かから注目される
とかそういうことだったり、物を得ら
れるかというのは、お子さんの行動を増
やしたりするんです。私たちの人の力と
いうことだと、とにかく保育園に通つて
いらつしやる方たちとかは先生が大好き
なんです。先生に相手をしてもらいた
い。なので、そういう先生たちの力と
いうのはすごいパワーになると思ってい
るんです。いいことをすると褒められ、
よくないことをすると否定的な注目に
なるんですけれども、どちらの注目も子
供の行動を強化します。私が保育園に行
くことは仕事でもありますし、自分の子
供を育てていて保育園に迎えに行つたり
すると、大抵はおむつを履かないでバー
と走っている子がいて、「駄目よ」なん
て言つて追いかけていると、みんな
バーと走つて行って、だんだん楽し
うになつて、追加してみんなお尻を出
したまま走るみたいなこともあつたりと
かします。そういうのは、否定的に注目
されているようで、それもうれしいみた
いな、そういうこともあります。

当たり前の行動をしているのによつて
おかれてしまつと、仲よく遊んでいた
だけけれども、そのままちょっとけんか
になつてしまふとか。注目がなくて今
までしている行動も減つてしまふかも
しれないというふうなことがあるので、
上手に注目を扱うというのがベアトレの
基本に

問題行動を減らすには、好ましい行動を増やす方が近道

好ましい行動を増やす→その結果→問題行動が減る



28

行動を3つに分類する (HW1)

好ましい行動	好ましくない行動	危険な行動
布団に入る	布団に入らずトントンを要求	隣に寝ている子をたたく
食事前に手を洗う 洗面所に向かう 石鹸をつける 指の間を洗う	食事中に口を動かさず、スプーンを皿にぶつけて遊ぶ	他児をたたく (食事前の片付けで、他児に早く片付けるように言われた時に)

具体的に記載しておく、対応しやすくなります

27

親御さんたちもロールプレーとホームワークがこのプログラムの中心にあつて、定着するようにやりますよとありましたけれども、今回実際に施設の皆さんとやる勉強のときに使っている宿題のプリントもお渡ししているの、もしよかったら分けてやってみてもらいたらいかなんていうふうに思います。この辺を具体的に記載すると、即座に我々が対応しやすくなります。

好ましい行動の時間が増えれば問題行動の時間は減るはずなので、できるだけ好ましい行動を見つけてそこを強化するようやり方を考えるといいです。

好ましい行動に関しては、注目を与える方法です。

これは褒めるという形で言いますが、いろいろな肯定的注目があります。この肯定的注目の効果は3つあります。それを子供は一層頻繁にその行動をするかもしれない。子供は認められていると感じるかもしれない。ほかのことでも協力的になるかもしれません。ということ、いつもではなくラッキーかもしれない、片づけしてくれてありがとうね、お皿を運んでくれて。とかを言うとか、お皿を運んでくれたりとか。保育園の場面なんかではよくあるかなと思うんです。「すごいね」「偉いね」と言うのと、「頑張れ」と励ますのと、感謝をする、「ありがとう」とか、「もう片づけ始めているんだね」と気づいているよと注目があるだけで、

好ましい行動に肯定的な注目をあたえる (ほめる)

肯定的な注目にはいくつかの方法があります

- ♡ほめる 自分がかたづけえてらいね。
- ♡励ます もう少しで片付け終わるよ。頑張れ。
- ♡感謝する 片付けてくれて助かったよ。ありがとう。

- ♡その行動に気づいていることを知らせる もう片付け始めているんだね。
- ♡興味や関心を示す かっこいいの作ったんだね。
- ♡嬉しいことを知らせる 自分からかたづけられて嬉しいよ
- ♡成長を知らせる 片付けができるなんてお兄さんになったね
- ♡ほほえむ
- ♡抱きしめる
- ♡次の活動に誘う (片付けを怒られながらも終えた後に) 昼ご飯は大好きなカレーだよ

聞く言葉も肯定的注目

- ・うんうん、そうかあ
- ・ふーん、そうなんだ
- ・へえ、知らなかったな
- ・それで？ それから？
- ・おもしろいね
- ・～と思ったんだね
- ・それは～だったね
- ・よくお話してくれたね
- ・よく知っているんだね

30

好ましい行動に肯定的な注目をあたえる (ほめる)

あなたが増やしたいと思うこどもの行動を増やすために

好ましい行動に【肯定的な注目】を与えましょう



①こどもはもっと頻繁にその行動をするようになる

②こどもは認められていると感じる

③他のことでも協力的になることもある

29

見ていてくれるんだとなるので。あと、「格好いいのを作ったんだね」とかと言っておくと、その後いい気分になつて片づけまでいつてくれるかもしれないとか、そんな感じですよ。次の活動に誘うは、怒られてしまったときとかに、「昼御飯は大好きなカレーだよ」と言ってお子さんに沿った話をしてあげること。あと、聞く言葉は、先ほどもありましたけれども「そうか、そうなんだ」「知らないかったな」「それで？」みたいな形で、関心を持っていてくれるという、そういうのも大事な肯定的注目です。

リーフレットにもこういう感じで着替えの時のほめるポイントが書いてあります。

褒め方のコツなんですけれども、早めに声をかける。せっかくだからいいことをしていてもやめて違うことをふらつとしてしまいかもしれないので、早めに褒める。発達障害のあるタイプのお子さんは、A D H Dのお子さんなんかも次々といろいろなことが気になつてしまい、いい行動をしているなと思ったら違うことをやっているみたいになるかもしれないので、早め早めに声をかけて、それがちよつとでも長引くようにしていくというふうなことで、25%ルール。別に10%でも全部終わってからはよかったよと言ってあげてもいいですが、後から言っても忘れてしまっていることが多いので、できるだけ早いほうがいいです。

視線、体、表情、声の調子も、ここは



ほめかたのコツ-1

- ①タイミング 『25%ルール』
行動を始めた時、しようとしている時、
指示に従った時、
好ましくない行動をしていない時に、
できるだけ早く。パーフェクトを待たらいけません。
25%でほめましょう！
- ②視線・からだ
視線をあわせて、同じ目の高さで。子どものそばに
いくか、子どもをあなたのそばに呼びましょう。
- ③表情 穏やかな表情で。
- ④声の調子
声の調子であなたが嬉しいと感じていることを伝えましょう。

32

「子どもたちに肯定的な注目を」～ペアレントトレーニング～



31

ほめかたのコツ-2

- ⑤言葉 行動をほめる
短く、分かり易く。子どもの行動を言葉にして。
×「いい子ね。」→○「靴下自分ではけたね。」
- ⑥効果的にほめる
子どもの性格や感じ方、年齢にあわせたほめ方をしましょう。
- ⑦避けなければならないほめ方
・誰かと比べる：競争させない、誰かを犠牲にしない
「1番」、「～よりすごい」
・皮肉、批判
「早くやっておけばよかったのに。」
「ほら、お母さんの言ったとおりでしょう。」
「初めからそうすればいいのよ。」

33

保育園の先生たちは本当に上手だと思うので、うれしいよということが伝わるように言ってくださればいいと思います。

言葉なんですけれども、ここがポイントで、「靴下を自分で履けたね」とか、「靴下をかかに入れてくれたね」とか、そんな形で何がよかったか行動を入れて褒める。さっきもありましたけれども、その行動を再現してもらええるチャンスにするためなので、「偉いね」とか「いい子だね」と言うだけでは伝わらないです。「ありがとう」「が好きな子もいれば、格好いい」とか。もうすぐ小学生だったら、「さすがもうすぐ1年生」とか。この時期のお子さんたちはみんなやる気満々になると思います。

絶対避けるのは「一番」とか、「誰々

好ましい行動をほめましょう (HW2)

支援者向けペアトレ講習の宿題から

好ましい行動	どうほめたか	こどもの反応
集会の時に水を飲む時に自分のイスにすわった	すわってのみはじめての時に「座ってのみはじめてえらいね。」と言って頭をなでた	嬉しそうなお表情で「ごちそうさま」といってコップを返した
話しているときにおもちゃで遊んでいたのをやめてお話をきけた	「おもちゃで遊ぶのをやめてお話をきけてえらいね。」	「うん、ちゃんとできたよ」と笑顔

34

自己紹介

- ・お名前・ご所属
- ・子どもの頃の大人からの呼び名
例：みかちゃん、みーちゃん



35

さんよりもすごい」とか。そういうふうにこちらからおらない。競争させない。それから、「早くやっておけばよかったのに」みたいなことを言ってしまうのもよくないです。「お母さんが言ったとおりでしょう」という言葉は親子が、仲よしさんだったりすると、「そうだね、ママ。」みたいになるんですけど、手柄を大人にしないというように、シンプルに子供が褒められたと感じるような褒め方をしましょう。

これは、支援者向けペアトレの講習の宿題です。私たちの施設には研修所があるんですけれども、3回シリーズで毎月1回来てくださって、宿題にも取り組みながらやります。児童発達支援事業の方とか保育園とか、そういうところから来てくださっている講習の宿題ですけれども、集会で水を飲むときに自分の椅子に座って飲み始めたときに、座って飲み始めて偉いねと言って頭をなでたら、うれしそうなお表情でごちそうさまと言ってコップを返したみたいな、こういう場面です。こんなことが報告されています。

ここで、せっかくなので、ペアトレのロールプレーを皆さんと一緒に経験してみようかなと思うんですけれども、お近くの方で2名になっていただいて、見つからなかったら3人で組んでください。では、2人で視線を合わせて、私と私、親子ペアという組合せを確認してください。ペアができたなら私の名前はこうなんです。所属はこうです。子供の頃は何かちゃんと呼ばれていましたと言って、ちょっと自己紹介をしてく

ださ。お願いいたします。

よろしいでしょうか。そうしましたら、この後ロールプレーをするんですけれども、ちょっと前を見てください。歯磨きを始めたことを褒めるといふパターンをします。親御さん役は立ってください。子供さん役は座ったまま、ちょっと背を向けて歯磨きをします。コツを使わない褒め方を最初にします。子供の背後から、顔を見ずにただ単に「偉いね」と言います。もう一つコツを使つたのは、お子さんの名前を呼んで視線を合わせてから「歯磨き始めて偉いね」と言います。こんな感じです。

(動画再生)

これが1番目のパターンです。2番目、ちょっとこれは私が喜び過ぎなんですけれども。

(動画再生)

みたいな形で、視線を合わせて名前を呼んで、それで何をしているのいいかという行動を言います。

そうしましたら、前側にいる人、もしくは左側にいる人が立って、大人役をしてください。3人のところは、お子さん役、2人とも歯磨きをしてもらって、それで大人役の方は褒めてあげてください。では、前側、もしくは左側の人は大人役で、立ってください。よろしいですか。そしたら、

RP1 好ましい行動をみつけてほめる

コツ 「25%ルール」、視線を合わせて、うれしそうな表情や声、行動の言葉

<ロールプレイ>
歯磨き始めたことをほめる。子役、親役の感想は？
親：立つ。
子：座ったまま、親役に背を向け歯磨きする。

1.コツを使わないほめ方
子どもの背後から顔を見ずに「えらいね。」とほめる。

2.コツを使ったほめ方
子の名前を呼び、視線をあわせてから、
「歯磨き始めてえらいね。」とほめる。



36

大人の役の人に若干背を向けて、それで歯磨きを始めてください。よろしいですか。そしたら、そこをただ単に偉いねと言ってあげてくださいね。では、今度はお名前を呼んで視線を合わせて、行動を入れて褒めてあげてください。お願いします。よろしいですか。では、チェンジしてやりますね。全員はできないかもしれないので、3人のところはもう1人だけ立ってください。では、後ろから偉いねと褒めてあげてください。2つ目です。お名前を呼んで、視線を合わせてから行動を入れて褒めてあげてください。という感じです。皆さん、多分視線を合わせたほうがうれしいとか、それくらいうれしいような顔が見えてよかったとか

環境調整の5つのコツ：直前の状況の工夫

1. 気になるもの・苦手なものを取り除く、見えないようにする

2. 事前に予定を視覚的に示しておく

3. 指示やルール、するべきことを視覚的に示す

4. 適切な行動をはじめやすいように手がかりを目立たせる

5. 本人の好きなものや活動を取り入れる

子どもにしてほしいことは見せる、してほしくないことは隠す
見せる、見せないを上手に操作！
子どもは楽しいことが好き！好きなことをしてくれる人が好き！
好きなことをしてくれる人の指示はうけいれやすい

37

1. 気になるものや苦手なものを取り除いておく

例1：夕食時にテレビばかり見ていて食事がすすまない
→ 夕食の時間はテレビを消す。

例2：糊が手につくことが嫌で製作ができない
→ スティック糊にかえる。
まずは製作を楽しむことが優先。

例3：品質表示などのタグの感触が苦手で
シャツを着ることを嫌がる
→ あらかじめタグを切り取っておく。

38

あると思います。お子さんが夢中になっていると気づかなかつたりするので、「何々ちゃん」と多分皆さんも声をかけてくださっていると思うんですけど、ちょっと一歩近づいただけでうれしいということが伝わるかなというふうに思います。ということで、次に行きます。褒められることでいい行動がさらに増えるということでしたが、環境調整をしてできるだけいい行動が増えやすいようにしてあげる。気になるもの、苦手なものを取り除く、見えないようにする。事前に予定を視覚的に示す。指示やルール、するべきことを視覚的に示す。適切な行動を始めやすいように手がかりを目立たせる。本人の好きなものや活動を取り入れる。これらが、さっきのマニユアルにもあるんですけれども、まず基本してほしいことを見せる、してほしくないことは隠す。見せる、見せないを上手に操作しましょう。それから、子供は楽しいことが好きです。好きなことをしてくれる人が好きです。だから、好きなことをしてくれる人の指示は受け入れやすいと思います。だからこそ保育園の先生たちのお話を聞いてくれるんだと思うので、そういうのを上手に使っていくということで、幾つか御紹介しています。これらのスライド（38〜43）のようなものは皆さんは発達の課題のあるお子さんの

28

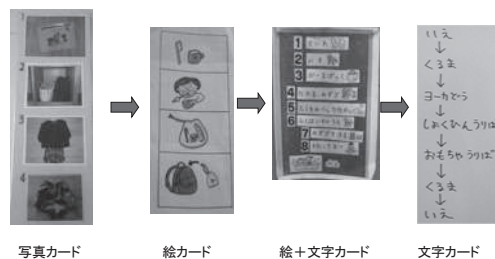


3. 指示やルール、すべきことを視覚的に示す



40

2. 事前に予定を視覚的に示しておく



※日本ベアレント・トレーニング研究会

39

適切な行動を始めやすいように道具などを工夫する



※日本ベアレント・トレーニング研究会

42

4. 適切な行動を始めやすいように手がかりを目立たせる

手がかりを置くのにもっとも効果的な場所は？
手がかりを見るときの行動をイメージしてみましょう



※日本ベアレント・トレーニング研究会

41

保育所のひとこま（1）

食事前に手を洗いたがらず、保育士に説得されぐずっている。

事前情報：水遊びをしてやめないで保育士が困っている
水が好き？

くると180度向きを変えてもらったら、
水道がみえて、自分から水道に近づいた。

見える、見えないをうまくコントロール

44

5. 本人の好きなものを利用する



しまちゃんのお願いはきいて
くれて、かたづけもできる

山手線だよ、というと緑で線を
ひいてくれる

43

支援でいろいろと使っていると思います。これは私の息子ですけれども、しまちゃんのお願いだったら大体何でも今でも大きくなくても聞いてくれたりします。しようがねえなみたいな感じで。外来でお会いするお子さんでは、山手線だよなんて言うのと、線を書きたくなくても線を引いてくれるとか、そんなこともあります。保育園に行つたときに、食事前に手を洗いたくなくて保育士に洗いなさいなんて説得されているお子さんがいたんです。でも、私はその子の御相談に伺っていたのですけれども、事前の情報でいつも水遊びをしてやめないから保育士さんが困っているんだというふうに聞いていたので、水が好きなんだろうと思っていたにもかかわらず、水道に行かないのであれ？なんて思ったんですが、くるって先生に180度回転させてもらったんです。そしたら、すすすって水道に行つたんです。ということ、見えないというのは、やはり言葉だけではなかなか難しいところがあるので、その辺は省エネでちょっと見えるだけで説得しないで済んだりするので、そんなのも環境調整として大事なかなと思います。

否定的注目をしないで待つを次にやります。待っているだけで好ましくない行動をやめたり、好ましい行動に切り替わったりします。好ましい行動に切り替わったら、後に褒めることが大事なんです。具体的に褒めれば、代わりにどんな行動を望んでいるか示せます。だから、

否定的な注目（注意する、怒る、たたく）が増えすぎると…

否定的な注目により、
好ましくない行動は減ることもあります。

しかし、否定的な注目が増えすぎると、子どもたちは、
・自信が低下したり、反抗的になるかもしれません。
・自分の力で、行動をコントロールする力が育たず、怒られないと好ましくない行動をやめることができなくなるかもしれません。
・他者に対して怒ったり、たたいたりすることが増えるかもしれません。

46

好ましくない行動に対して否定的注目をしないで待つ

待っているだけで、
好ましくない行動をやめたり、好ましい行動にきりかわったりします。

好ましくない行動をやめたり、好ましい行動が出てきたら、
すかさずほめましょう。

あとにほめることが続くことこそが、大きな鍵！

具体的にほめることで、代わりにどんな行動を望んでいるかを示します。

好ましくない行動 → **待つ** → 好ましい行動 → **ほめる**

45

何々しなさい、駄目ですよと言う代わりに、待っていて変わったらそこで褒める。そうすると、それはやったほうがいいことだということにお子さんが気づけるチャンスになりますよということです。

否定的な注目が増えると、怒られればやめたりはするんだけど、自信が低下する。それから、怒られないと自分では行動をコントロールできない。それから、怒ったっていいんじゃない？ という行動パターンを覚えてしまったりすることがあるというのが課題かなと思います。

否定的な注目をしないで待つというのは、親御さんがやるときは本当に大変だし、保育園でやる時もほかの子のこともあるので、待っているのはなかなか難しいということもあります。どの行動に使えるかなというのをみんなで話し合っでやっていくということが大事かなと思います。大人と子どもがあまりに文句の言い合いとかなってしまっから知らんぷりをしているみたいになってしまうと、「何で無視するんだよ」みたいになってしまいうので、怒る前にスルーするような感じ、もしくは適切な指示を出してからスルーする感じというふうにします。怒っているような様子は見せず、親御さんだと雑誌を読んだり別なことをしてねなんて言いますけれども、保育園の先生たちはほかの子のケアをしているとスルーできる、そんな感じです。そして、絶対褒める準備をしておくということ

好ましくない行動と切り替わってほしい行動

ターゲットにする好ましくない行動は？

例：「絵本をかたづけ。」と言っても、無言で絵本を読み続ける

どのような行動に切り替わったら、ほめますか？
＝どのような行動をこれまでできましたか？

例：・5分したら絵本を本棚にかたづけはじめる
・3回近づいて声をかけると、3回目に本を閉じる
・10分後に自分で絵本を閉じる
・「うん、分かった」と返事をする

48

否定的注目をしないで待つ コツ-1

- ①タイミング
してほしくない行動がはじまったら、すぐ始めましょう。
- ②視線・からだ
子どもと視線をあわせない。身体の向きをかえます。
- ③メッセージ
普通で無関心な表情と態度
決して眉間にしわをよせたり、怒っている様子は見せません。
何も言わない（舌打ち、ため息も注目になります）
表面上は全く何の感情も示しません。
何か別のことをして感情をコントロールしましょう。
雑誌を読む、家事をする、時計の秒針を見つめる
- ④ほめる準備をする
子どもが代わりにできそうな好ましい行動を考えておきましょう。

47

す。

例えば、「絵本を片づけて」と言っても無言で本を読み続けている場合は、5分して片づけたら褒めようかなと決めてちよつと待ってみるとか、そんな感じです。

リーフレットにある文句を言うパターンですけれども、先生が仕事をしている時に「先生聞いてよ」と言ってくる。「お仕事だから遊んで待っていてね」とこたえても子どもは「今聞いて今聞いて」みたいにすぐにやってほしいという感じで怒っているんだけど、ここは指示を出しているからちよつと待とうというふうにして。「何だよ、ばか、つまんないな」と言いながらはなれたところを追いかけ、て、「待っていてくれてありがとうね。後で聞かせてね。」と声かけします。声かけすると、子どもはまた話そうとするかもしれないですけれども、ただ、ここで怒ったまま行ってしまうとほかの子を蹴るかもしれない、ということもあつたり、相手にしてもらえなかったと、残念な気持ちになつてしまふかもしれないので、ここちよつとフォローをする、「待っていてくれてありがとう」というふうに、本人が待ったかがあるような形を早めにしてあげるとよいです。

ということ、さっきのA、B、Cですけれども、遊んでほしいと騒ぐような行動を注目されないことで、切り替えてあつちに行こうとする、騒ぐのが減る。そして、先生から離れたことを褒めるこ

指示の出し方のコツ-1

- ①こどもの注意をひきましよう
そばに行く、名前を呼ぶ
- ②視線をあわせましよう
こどもの目線になって
- ③指示は短く、具体的に、して欲しい行動を伝えます
×ちゃんとしない
○手は膝の上のにせて座ってね
- ④こどもが指示に従うまで、少し時間を与えましよう。
すぐに従わなければ、その場を去ります。(=待つ)
指示→待つ(1~数分)→指示→待つ→指示を
CCQで繰り返しましよう
- ⑤ささいなことでも従おうとしたら、ほめましよう

指示を繰り返す時は
C: Calm おだやかに
C: Close 近づいて
Q: Quiet 静かに

55

子どもの協力を増やす 指示

『指示』とは

コミュニケーションの道具。お説教ではありません！

やるべき行動の内容を伝えること。
「～を始めてね」「～はやめなさい」

1回の指示で子どもはあなたが望む行動を、すぐするようになる
のでしょうか。現実的になりましよう！
はじめから、「指示はくり返すもの」と思っていたら、少し
楽になるかもしれません。

54

指示の出し方のコツ-2

より小さい子どもに対しては、
言葉だけでなく、視覚的な指示も取り入れましよう

- ・実物をみせる
例：おもちゃの箱を目の前に置いて、「おもちゃを箱にしまおうね」
歯ブラシをもってきてみせて、「歯磨きシュッシュしようね」
- ・ジェスチャーをする
例：おもちゃの箱に入れるところを見せて「おもちゃを箱にしまおう」
手を口の前で横に動かして、「歯磨きシュッシュしようね」
- ・実物をもたせる
例：おもちゃの箱を目の前に置いて、おもちゃを渡し、「おもちゃを箱に
しまおうね」

56

あつて、穏やかに近づいて静かに、1回目は穏やかに静かに、ちょっと離れてもう1回言うときも穏やかに静かという感じです。これは本当に大変だと思うんですけど、実際は本当に静かにやっていますね。そうすると、子供同士の会話もよく聞こえたりしてという感じで。ちゃんと先生がそばに行つて伝えて下さっています。そういう言葉で伝えるだけではなく、実物を見せたり、ジェスチャーをしたり、実物をわたして落とせばもうお片づけをしてきているみたいな、そういう成功に結びつくようなチャンスだったり。

あとはミニカーを投げようとしている子に投げちゃ駄目と言うと大抵投げるし、

指示の出し方のコツ-3 うまいかない時に

- ・「○○○しなさい」と伝えましよう
「xxxしてはだめ」では
xxxの言葉に反応して行動してしまいがち
代わりに何をしたらよいかわからない子もいます
例：ミニカーを投げようとしている子に
× 「投げちゃだめ」というと、投げてしまふ
○ 「(床で走らせるまねをして) ビューンって走らせよう」
- ・好ましくない行動をした時でも、子どもの気持ちに共感することで、次に伝える指示が伝わりやすくなります
例：お友達のおもちゃを無理やりとろうとした子に
× 「とっちゃだめだよ」
○ 「遊びたかったんだね。そういう時は、『かして』って言うね」

57

行っちゃ駄目と言うと行くんですよね。なんだけれども、こつちでこうやってビューンと遊ぼうと言って走らせているようなジェスチャーで見せたり、折り紙やろうとか言うのと、こつちにきてくれたりするので。しなさいのほうがいいですね。「駄目」というとそれだけで怒る子もいます。あと、おもちゃを無理やり取つた子に、「取っちゃ駄目でしょう」というふうに言うのではなく、もちろん駄目なことを教えるなければいけないんだけれども、「遊びたかったんだよね」とまずは共感をしてあげて、何が目的なのか聞いてあげて、「そういうときは貸してと言おうね」とか、「じゃあ一緒に貸して」と言いに行こうね」みたいな、そういうできそうな指示を出すということが大事です。

お友達を押す、さっきありましたけれども、代替行動。子供の欲求に合わせた代替行動を指示しなければいけないです。こちらがやらせたい行動をやらせるのではなく、子供がどうしたいかに合わせた子供ができる指示を出す。貸してと言える子ならいいですけれども、言えなければ一緒に行こうとかそういう感じになるかなと思います。

これは保育所の1こまでですけども、紙芝居を聞かないでふらふら歩いている5歳ぐらいの子だったんですが、事前情報は他児に割り込んででも先生に相手をしてほしいというお子さんでした。巡回で私が行ったときにも、紙芝居中なのにすぐにヒューンと来て、誰？ みたいな感じで声をかけてくれたんですけれども、人の注目が好きなお子さんなのかというのとはともありましたので、少し話してから「ちょっと隣のお部屋の子も見に行かないといけないから、後でどんな話か教えてね」と言ってから出てみたら、その後ずっと聞いていてくれたらしいです。

終わつてもう1回行った時は、まだ紙芝居は終わつていなかったんだけれども、私は帰らなければいけなくて、でも約束はやはり守らなければと思ったので、保育士さんに伝えたとこ帰るから教えてあげようかということであれしそうにきて教えてくれました。なので、代替行動ですね。紙芝居を見なさいではなく、注目してもらえろチャンスがあれば、お子さんはやろうと思えるということがあ



保育所のひとこま（２）

紙芝居聞かないで、ふらふら歩いている子

事前情報：他児に割り込んででも先生に相手をしてほしいがる。

巡回医師にもあいさつに来るなど関わりを求めてくる
人の注目好き？

「どんな話が後で教えてね」→ずっと聞いていた

注目を得られる適切な方法を伝える、体験させる

59

子どもの行動の４つの機能から考える適切な指示

例：お友達を押す

- ①注目を得られる（注目要求）：
友達がふりむく、追いかけてこ
- ②好きなものを手に入れる（物の要求）
おもちゃを使える
- ③それ自体が楽しい（感覚刺激）
触覚刺激を楽しむ
- ④嫌なことから逃げる（回避、逃避）
近づいた人を遠ざける
注意されるのを拒否する

代替行動の指示

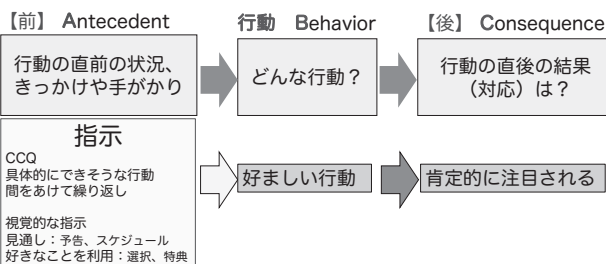
- ①友達の名前を呼ぶ
「遊ぼう」と言う
- ②「貸して」と言う
- ③大人に抱っこを要求
クッションを抱える
- ④「やめて」と言う
先生のそばに行く

58

るかもねと考えて。そういうときに園長先生の力はすごくて、園長先生に教えてあげようねと言うと、結構張り切る子とか、そんな子もいるかなと思います。

ということで、基本スタイルのCCQの指示というのはこんな感じなんです。ほかに、これも皆さんはいっぱいやっていると思いますが、予告。あと5分ねと言う。急に止まらないお友達たちが、もちろんさっきお話があったように、切り替えるのが苦手というのはすごい楽しいことを集中して頑張れる力でもあるんですよね。よいところでもあるのですが、ただ、急に止まってもらわないと困るなというときは先に言う。それからどっちがいい？と決めさせてあげるとか、あとちょっと御褒美がある。そういう物の報酬欲というんですけれども、そういうのがあるお子さんはごほうびの約束をしてもらったりするとちょっと頑張ります。片づけなかったら何々しないよというのはバツです。これは避けて、いつも片づけたら何々できるよというふうに翻訳していこうと思ってもらえるといいかなと思います。あとは、太郎ちゃんにお片づけしてくれてありがとうと言うと、ふだん褒められると思えているお子さんは私もやって褒められようと思ってまねします。褒められたことがない子はこの方法が効かなくて、「太郎ばかりずるい」という思いになってしまうので「太郎ちゃんをお片づけしてありがとう」と、花子もし始めたならそこを褒めてあげる。まね

ABC分析 と 指示



61

こどもの協力を引き出す方法のいろいろ

1. 予告する 「あと5分遊んだら片付けてね。」
2. 選択させる 「絵本とおもちゃ、どっちを片付ける？」
3. ～したら～できる という取り決め
「すぐにお片づけを始めたなら、絵本を2冊読んであげるよ。」
注「片付けなかったら、いつも読む絵本読まないよ」は罰の警告
4. こどもどうしの力を利用して協力を促す
「太郎、お片づけしてくれてありがとう。」
花子も片付けたら「花子もお片づけできて、えらいね。」
注「花子は片付けないけど太郎はえらいね」と比較しない。

子どもが指示に従ったら、ほめましょう。

60

してよくないのではなく、まねしてよかったです。ここです。こんな感じですよ。ここで、A、B、Cで考えると、できそうな指示を出してあげたり、ちょっと待つてくれることで切り替えたりします。それから、見通しを見せてもらうことで好ましい行動が生まれやすくなるというのをして、褒められてまたその行動を増やしていこうねという感じですよ。

このCCQで本を片づける指示に関しては、ちょっと時間も少ないので、動画だけちょっと見てもらおうと思います。子供の背後から、太郎、本を片づけてねというふうに指示をします。それでも本を読み続けているので、5回ぐらいちょっと怒りきみで私はやっていますけれども、親御さん役は5回ぐらい指示を連続します。それが1個で、もう一つはCCQで視線を合わせてから、太郎、片づけてねと言って、それでも読んでるので10秒待つて、もう1回CCQで言いに行きます。本を閉じたら、「偉いね」と褒めるといような、そういう流れです。ここに10秒とありますが、ふだんは1分ぐらいとかそのぐらい待つてあげたほうがいいんですが、ロールプレイのときは10秒ぐらいでも分かるかなということをやっています。こんな感じです。

（動画再生）

という感じです。もう一つは、こんな感じですよ。

（動画再生）

指示をして、少しでもできたらほめましょう（HW4）

施設職員向けペアトレ講習の宿題から

あなたが出した指示、ほめた言葉	こどもがそれに対して言ったこと、したこと
トイレの場面 1) (CCQで名前を呼んで) スポンを履こうね 2) スポンをあけてごらん (一緒に手を添える) 3) じゃあ、先生がお手伝いしてもいい？ 4) (腰の下までスポンをあげ、手を一緒に添えながら) きゅって引っ張ってごらん 5) あ！履けたね、できたよ！ ぱっちりだね！ 6) うなずく 7) 2) こちちを見るだけで返事をしない 8) 4) やろうとしない 9) 6) うなずく 10) 8) 手に少し力が入り、わずかに引っ張る 11) 10) こちちを見て、にやりと笑う	

63

RP2 CCQで本を片付ける指示をしましょう

コツ CCQ (おだやかに、近づいて、静かに)
少し時間を与えてくりかえす



1. コツを使わないほめ方
保：子どもの背後から、「太郎、本を片付けてね。」と指示します。
子：本を読み続けます。
保：「本片付けて。」、「早くしなさい。」と続けて5回指示を出します。
2. コツを使ったほめ方
保：CCQで、視線をあわせて、「太郎、本を片付けてね。」と指示します。
子：本を読み続けます。
保：10秒待って再び「本を片付けてね。」とCCQで、視線をあわせ指示します。
子：本を閉じて、本箱に入れようとしています。
保：「片付けられるね。えらいね。」とほめます。

62

片づけないなと思うので、ここでもちよつと離れたところで10秒ぐらい待ちます。

(動画再生)

という感じなんですけれども、立て続けに言っても10秒、10秒空けても10秒というようなところで、多分わーって立て続けに言っているのは聞いていても聞き苦しい感じになるかなと思うんですけども、待つているとあれ？ という感じで、次の指示が落ちて着いて入りやすいというようなことを体験できます。これは私の外来診察室なんですけれども、親御さんとこれをやるだけで1分で指示のコツが分かります。後ろから声をかけられる、台所から声をかけるよりも近くに行つたほうが一発で分かるよねということが共有されます。指示をして少しでもできたら褒めましょうというの、宿題にしています。

ペアトレは、褒めるばかりで甘い感じみたいにつまみ食いされることもあるかもしれないんですけども、このアンガーマネジメントという、早稲田の先生で少年院の子のサポートとかもしている本田恵子先生が書いてくださっている本の中で、この先生が書いているのですが、この上はその先生のアンガーマネジメントの流れなんです。相手が主張したら気持ちを受け止めて、その後、相手の要求を何々したいことかなと言つて言葉にし、それでも何なんだよと言つたら、そうかそうかなんて言つて気持ちを受け止めて、

本日の内容

1. ペアレント・トレーニング (以下、ペアトレ) とは
2. 施設職員による子ども・家族支援
ティーチャー・トレーニング (以下、ティートレ)
3. ペアトレ (ティートレ) のプログラム
行動とは
ABC分析
行動を3つに分類する (ほめる)
肯定的な注目をあてる (ほめる)
環境調整
否定的な注目をしないで待つ
指示
4. 人間関係の中で育つ
愛着、虐待、治療的養育

65

アンガーマネジメントとペアトレ、ティートレ、スタトレ

子どもの攻撃的な言動の受け止め方 キレにくい子どもを育てる。親子のアンガーマネジメント 本田恵子 一部改変



64

それだったらこういう方法があるよと言つて落ちていてありがとうみたいなの、そういうふうにするんですけども、これは全部ペアトレの方法で全部賄えてしまいます。あとは、ちよつとこのところでは何だかみないな感じでずつと文句を言つていたりすると、若干時間を与えるというのがあるんです。何分後にまた話そうねとか言つて離れるというのがあって、そういうふうな、そんな感じなんです。

そういうちよつと関わりの難しいお子さんたちがいらつしやると思うんですけども、先程もお話がありました、愛着というのが以前にテーマになったというので、子ども、人間関係の中でお子さんたちは育ち、安心安全な基地があるとちよつと頑張つてチャレンジして、困つたらまた戻つて行くという感じだと思ふんです。

基本的な信頼、先生たちが保護してくれたりするということ。それから、自分でやれたということ。それから、不快なときにはおなかすいたねとか、着ようねとかすることで感覚を分化してくれる。それと同じように、飛んだり跳ねたりしていたら「落ち着いて」と言うのではなくて、「うれしいね」と言ってもらつたり、それから「わーっ」とか言つて怒っていたら「がっかりだね」というふうに言ってもらふことで、だんだんそういう気持ちも分化してくるんです。だから、そういう意味では行動を私たちの視点で制御しようというというのがすごく

そういったものを学んでいくという考え方なんです。

治療的養育とペアトレ、ティートレ、スタトレの共通点

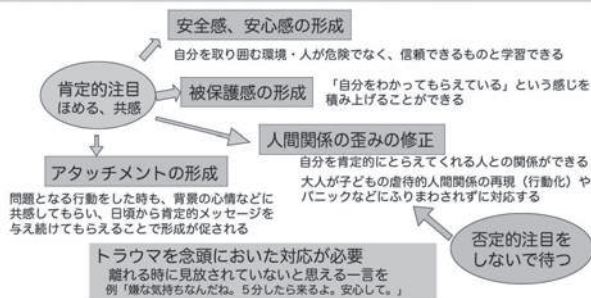
つながる。それから自分をよいと思ってくれる人との出会い。アタッチメント、そういったものにつながると思っているんです。否定的注目をされないことで、わーってやつても自分を否定する人ばかりではないんだと思えるかなと。さっきお話ししたように、ちょっと離れるときには「嫌な気持ちなんだね、5分したら来るよ。」と。ちゃんと見通しを持たせてあげないと、見捨てられたというふうに思う5分間はすごくつらいですから、だからその辺がスタトレのときはすごく意識するようにしています。ただ、児童養護施設ではなくても保育園でも、なかなか御家庭の対応が難しいな、ちょっとお子さんがきつい思いをしているのではないかなという御相談を受けることはたくさんあって、そういうお子さんたちを保育園の先生たちがすごくサポートしてくださったり、親御さん支援もしてくださっていると思うので、本当にありがたいなと思います。そういったようなお子さんにもこういう考え方が当てはまるんだということを知っていただければと思います。

さっき一時保護所の勉強会は回数も少ないので、具体的に台本を作ってやっていまずという話をしましたが、台本を用いてどういう支援をしようかというときに、このペアトレの手法、ティートレ、スタトレの今やってきた項目で考えようというふうに、別の支援ももちろんいっぱいあるんだけれども、このペアトレのやり方でやったらどうするかというのをせっかくだからやりましょうということ、子供と大人の流れを書いて子供の行動を分けたら、今度は大人の行動も分けるということもするんです。

肯定的注目を増やすとしたら？とか、環境調整をしよう、否定的注目をしないでおいてあげることはあるかな？とか、実行可能な指示を出したかな？みたいな、そんな感じのことをします。

例えば、この例ですと子どもが希望した絵本を読み聞かせしてあげていた、からスタートしているの、これはお子さんに対して肯定的注目なんです。それを

治療的養育とペアトレ、ティートレ、スタトレの共通点



71

ティートレ、スタトレでの支援の考え方

1. 子どもの行動を分けてみよう：好ましい、好ましくない、危険・許し難い
2. 大人の行動を分けてみよう：肯定的注目、待つ、指示、否定的注目、制限を設ける（罰の警告と罰の実行）
3. 肯定的注目を増やすとしたらどの行動に？ どのような肯定的注目？
肯定的注目の効果：行動を増やす、認められた・安心な感覚、協力を増やす
4. 好ましい行動につながりやすい環境、事前の準備は？
5. 指示や否定的注目をしないで待てる子どもの行動はある？
何をしながら待つ？ どのような行動に切り替わるのを待つ？
否定的注目をしない効果：不適切な注目要求の軽減、虐待的関係の再現防止、自分でできたと思える機会をつくる
6. 大人が子どもにしてほしい行動は？子どもが実行可能な指示は？
これまでできた子どもの行動は？これからできそうな行動は？ 協力を促す方法？

72

大人の対応を分ける ほめる→指示→待つ→ほめる

保：本児が希望した絵本を読み聞かせし、
保：消灯したら布団に静かに入ってトントンを待っていてほしいことを伝える。
子：しかし、実際に消灯すると、布団に入らずトントンを要求。
保：静かに布団に入っている児童を優先して寝かしつけにいくと
子：保の足にまとわりついて自分の元に来るよう要求してくる。
保：取り合わずにいると、
子：自分で布団で静かに待つ約束を思い出し、
布団に戻る。
不満げな声を出していたが、
保：（不満げな声は注意せず）布団に入れたことを認めてあげると、
子：徐々にトーンダウン。
保が来るまで布団に入って待っていた。

- (1) 他にほめられそうなことはありますか？
どのように、どんな言葉でほめますか？
- (2) 指示の工夫はできそうですか？ どんな言葉で指示しますか？
- (3) 指示以外の環境（直前の状況）の工夫はできそうですか？

73

やっていったから次の指示が入ったり、ちょっと待ったというところが少しできたのではないかなというように、何もしたのではなく指示だけではなかったよねというように話を話したりします。お子さんがどんな要求してくるけれども、他の子の寝かしつけに行つて、ちょっとスルーしたら「待つ」で、まとわりついても怒らないで、ちょっと「待つ」で、不満げな声を出していたけれども、それも怒らないから「待つ」で、最後トーンダウンしたら褒めたという、そういう感じの流れです。

ほかに工夫はある？ というふうなことをみんなで考えたり、指示以外の環境調整、例えばお布団の中は寂しいから「何々さんの代わりね」と言ってお人形さんを置いておいてあげたらちょっと待たかかぬみたい、そういうようなことなんかも出てくるので、1個ずつ工夫を挙げていくみたいな感じです。

こんなふうにペアトレの手法をお子さんの支援に利用し、子どもにいい行動をたくさん学んでもらうと子供が育てやすくなつて親御さんの支援にもつながったりとかするし、親御さんと一緒に子どもができていることを共有していけるといいのかなというふうに思っています。

お子さんはやりたくないということがあるとやらないので、やりたいと思わせあげると、一緒に喜んでくれる、褒められる。もちろん、どうしたらいいかわからなかったらできないから、やり方を教



ラえもんのポケットから一つ、出すような、子ども、ちょっと使ってみようというのにしています。

という事で、私の話はこれでおしまいにさせていただきます。ありがとうございました。

てきたりして良い子育てのイメージが湧かなかったり、何で褒めなければいけないのかというのがぴんとこない方もいらっしゃるんだけど、やはり親御さん自身、自分が大事にされたと思うとそこが変わってこれたりするという方もいらっしやいます。

私たち支援者同士も褒め合うことがすごく大事だし、御家族同士でいいねと言ってあげられるような、そういうようなことも大事かなと思っています。ペアトレのスキルを学んでくださった施設は、結構お互いに支援者同士がこれいい方法だよねとか褒め上手になるからとても楽しいと言ってくださったりするので、皆さんの支援の中でもペアトレの手法をド

総合討論



【岡】 それでは、最後のセッションを始めさせていただきます。ここでは、いつもいただいた御質問などをお答えしながら、講師の先生方のお考えを伝えていただくというふうにしております。今日は、本当に2人の先生からはすばらしい具体的なお話を伺うことができてよかったですとお話を聞いていただいても、私のほうからちよっとお話を聞いていただいても聞きたいなと思ったことがあるので、先に質問させていただきます。

金原先生が全ての子供の未来のために役立つと思うことというふう到最后にお話されたところというのは、非常に子供たちの未来を信じて、小さいお子さんのときから接していただけるんだというのを私は非常に強く感じて感銘を受けました。恐らく金原先生のやはり長年の御経験で、ずっと子供を見守っていった、こういうふうにご意見を伸ばすとか、見方を変えて子供の味方になっていく、そういうことによってどんな育つって、立派な社会人になっていったような方もいらっしゃるのではないかなと思いますけれども、先生のそういった御経験みたいなことをお話しただけるとありがたいなと思いました。

【金原】 ありがとうございます。私は、大病院には2年間しか在籍していなくて3年目からずっと下関で小児科医をやっている立場でお話しさせていただきます。現在75歳ですが、48歳で開業したと同時に園医を務めています。園医健診終了後、10分間くらいのティータイムに意見交換をしますが、その際に、気になる子どものご家族の事情やお母さんの気持ちを聞かせていただくなど多くの経験をさせていただきました。外来でもかかりつけ医として長期間子どもを見ることができる立場で仕事をしているため、3学期は、進学や就職のご挨拶に来ていただく方が多い、とても嬉しい季節です。職員や親御さんと、「幼稚園や保育園の頃は、とても大変だったのに嬉しいね、すごいね」という話になります。その方たちは、お母さんが誰かに助けを求めるのが上手で、園や学校の先生などのサポーターが何人かおられ、厳しい状



金原 洋次

況の中でも誰かと繋がりが子どもの成長を長い目で見ることでできた方が多いと思います。園の先生は1〜2年間担任をされる立場ですが、1年間でなんとかしなくてはではなくで、ちよっと長めに見ていただき「成長を待つ、気が熟すのを待つ」というスタンスで、次の学年に繋いでいただきたいと思います。そうすることで、余裕を持った保育ができると思います。子どもは、褒めることで自己肯定感が育ち、「ボクは苦手なことがあるけど、なんとかやれるんだ」というような気持ちが育ち、思春期以降に花が開いてくると信じています。皆さんも保育の現場でなさっていることを信じて、子どもたちや保護者の味方になって仕事を続けていただくと。子どもたちは素晴らしく成長するのではないかと思います。

【岡】 ありがとうございます。

先生が今、信じてというふうにおっしゃいましたけれども、やはり子供たちの未来をいかに我々子供と接する者が信じられるのかというのは、すごく私も日頃から大事だと思っていて、やはり子供の力を信じないとこちらもやはりくじけてしまいます。だけれども、諦めるのは簡単ですけれども、それがその子の10年後、20年後が大きく変わってしまうので、やはりそこは信じていかないとけないのかなというふうに思います。

例えば、私自身の病院では、早産で非常に小さく生まれたようなお子さんもいるわけですが、そういうお子さんを見て先生たちなんかも、本当にその子の大人になったときの姿を想像しながら、やはり信じて医療をしているわけです。恐らく、子供に関わるいろいろな職種の方、皆さんそういう子供の未来を信じてやっていただけたのかなというふうに思いました。本当に、先生のこのスライドは勇気をいただいたかなと思います。ありがとうございます。

それから、長瀬先生は普通だと長い時間がかかるベアレント・トレーニングのお話のエッセンスを今日はお話しただいたと思うんですけど、その中で多分結構現場で苦労されるのが先生が3つの類型に分類された中で、危険な・許し難い行動、こ



れに対してどういうふうにしたらいのかというところがやはり現場では結構困ることが多いのではないかなと思います。その辺りに対する対応というのはどんなふうに考えたらよろしいでしょうか。

【長瀬】 ありがとうございます。

さっきお話をしたときに、危険な・許し難い行動は、小さいお子さんの場合はまず環境調整ですというお話はちらつとさせていたんですけれども、わざと危険なことをしようと思って、誰かを傷つけたいと思ってやっているわけではなく、分らないで楽しそうだからやってしまったというようなこと、多くはそちらかなと思います。分からなくて危ないから飛び出してしまうようなこともあって、こちらから見れば危険なので何とかしたいいななんていうこともあるのかなと思います。

困る行動に関して私たちが注意したり、場合によっては怒ったりというようなやり方をしていこうと思うんですけども、そこはちょっと分けて、そうではない対応をしていきましようというのが基本なんです。例えばですが、私の外来の診察室で蛍光灯みたいなのがあって、ちよつと柔らかいボールなんかも遊びとしてあったりするんですけども、診察室の外に出たくなってしまうのでそのボールで遊ばせてあげられるようなことをした場合に、うまくなってくると天井に上げたくなるんですね。そうすると、電球に当たりそうになる。危ないからやめましようとなるかというところ、そこで多分やめなさいと言うとうわーとかんしゃくになってしまふのですが、あつちの壁だったらいいよと話すところ、結構壁のほうでやってくれるんですね。なので、危険だから即何か制限を与えろとか、大声で怒らなければいけないではなくて、分からないのかもしれない、と思う。知らないであればそうしようという具体的な形で伝える。小学校1年生ぐらいのお子さんなんですけど、意外とやってくれたりします。



長瀬 幸子

あとは、ペアレント・トレーニングについて今日はすごく簡単に短くお話ししますが、精研式と言われるものは全部で10回あるんです。2週間ごとぐらいに10回シリーズで大体半年ぐらいかけて。病院に発達障害の診断で来られている方の場合には親御さんとお子さんとの関係にすごく難しい状況があるので、そのくらいかけてやるというのが基本ラインですけれども、最初の6回ぐらい、行動を分けて、褒めて、待つのは難しいので待つを2回やって、その後指示を2回やって、その後に行動の流れをよくする表の作り方をやって、最後に危険な行動の制限というところで、大体四、五か月後ぐらいにそこが来るんですけれども、最初に危険をいっぱい書いてい

た方でもその頃には、「ないです」という方も出てくるんですね。なので、最初の適切な指示だったり、いい関係性ができることで減っているということなので、ちよつと長い目で見ると別に危険なことからアプローチをしなくてもそういうことは減りますということをお伝えしています。ただ、目の前で危険な行動があるので、そこから何とかしたいというふうな思いがあるのも当たり前なところなんです。なので、親御さんたちに言う場合は、今までどおり危険と思った場合は今のとつさにできるやり方です。だけれども、褒めるほうもやっておいてねとか、危なくないときにこいうふうな指示でやったり、ちよつとスルーしたり、すぐに怒らなくてもいいよ、例えば肘をついて御飯を食べているときに「肘、肘」と毎回言われて楽しくない御飯になつてしまふおうなんかもあったりするので、そうではなくて、肘をあげたときにいい姿勢だねというぐらいの感じでいいんだよみたいな形でお話をして。そつちのほうを多くしておいてもらうと、だんだん危険なことが生まれやすい関係になつていかないうちになります。

あと、ABC分析をしていただく話をしましたが、何でその行動が出てくるのかのきつかけを見ると、さっきのペアトレのリーフレットの絵もありましたけれども、認めてもらえなかつたりするといらいらして誰かをたたいてしまふにつながるとか、そういうような事前の状況があるようであればそこを改善してあげられるようにすれば、その行動が生まれなかつたりしないとか、もしくは事前に予告をして、「約束をよく覚えていたね」とか言つて褒められていると、5分ぐらいは約束を守り続けて安全に遊べるかもしれないとか、お散歩に行くときに「手をつないで歌を歌おうか」なんていうふうにすると飛び出さないで行けるかもしれないとか。多分、皆さんがすぐいろいろ工夫していることがあつても、最終的に危険になつてしまふのかもしれないので、そこはちよつと若干の限界がお子さんにあるかもしれないんですけれども、そういう工夫を総動員すると24時間の行動量は一定になるので、好ましい方をちよつとでも増やしていけば、結果危険も減りますという考え方になります。そんな感じで予告をして、褒められて、それをちよつとでも守つて維持できる、適切な遊び方を提示して、みたいなやり方で、できるだけ減れば、ゼロにはならないかもしれないけれども、減ればという感じです。

【岡】 ありがとうございます。

恐らくは、やはりほかのお子さんもいたりするので、安全をとにかく確保しながら、現実的には対応しながら、けれども長期的に減らしていく努力がやはり基本的な考え方は同じということで進めていただけるといいのかなというふうに思います。私自身も、やはりそういう御質問を実際に外来でも受けることが多いんですけれども、本

当に長瀬先生のおっしゃるとおりかなと思っています。

よろしいでしょうか。今日は、本当にどの保育所にもいらっしゃるようなお子さんの課題をお話しいただいたわけですが、少しでも、少しいたっている御質問にお答えしながら、先生方のお考えをさらに伺えればと思います。

まず、いただいている御質問で、年齢から考えるとどうしても子供にこれができて当たり前と思ってしまつて、私自身が褒めることが苦手で、できていることをできたねというくらいであまり褒めていないな、うまく関わっていないなと感じることがあります。もう既にベアトレで練習の機会を持ったのですが、私は女優思いながら関わるようにしていますけれども、ほかによい方法があったら教えていただきたいですという、ちょうど長瀬先生に関係するようなお話がありますけれども、いかがでしょうか。

【長瀬】ありがとうございます。

ぜひ、これを書いてくださった方は女優になってくださいという感じですが。最初は、何か居心地が悪いなんて思ったりとかすることがあると思うんですね。なので、例えば医師会のお子さん先生たちとやったりするときは、「なんか……」とかおっしゃりながらやったりすることもありましたけれども、やってみると、もしくは子供の役をやってみると、「そういうふうに言ってもらおうとうれしな。」みたいなことに気づいたり、やっている間に当たり前のようになって照れくささも減ってきてくれるかななんていうふうに思います。私も最初は、主人相手に練習をさせてもらったりとか、そういう感じでこんなふうに言うのはどんな感じかなとか試しましたので、ぜひトライしてみてください。

あと、お子さんを褒めたときに反応が返ってきにくいお子さんもありすると思うんですけども、じわつと響いていたりとか、うれしそうにしないでその後の行動がちよつと変わっていたりとか、そういうこともあるので、これは親御さんたちにもお話しているし、私たち支援者もそうですけども、反応がないからといって私達大人が傷つかないようにしておくつもりにするのも大事なかなと思っています。

あとは、どういう言葉とか、今日コツをお話したので、そんなのも改めてどういう褒め方が自分には言いやすいのかなと。「できたね」というのは、気づいていることを知らせるという大事な褒め方の一つなので、その方法もとてもいい方法ですから、それでいいです、ということ、ちよつと広げられそうだったらまた試していただければなんていうふうに思います。

以上です。

【岡】ありがとうございます。

大体、日本人は褒めるのが下手ですよ。海外の方、私がアメリカで生活していたときにすごく感じたのは、アメリカの人に家族のことを聞いたりすると、いかにうちの子供が素晴らしいかという話をわーつと話されるんですよ。日本人は違うではないですか。うちの子はというと、うちの子供なんてみたいな感じで遠慮をする文化ではないですか。だけれども、違うんですよ。自分の家族であつても褒めるということがすごく生活の中に入っていて、そういう意味でどうやって褒めるのかというのはやはり練習が必要かもしれないなというふうに思います。ですので、先生に今日書いていただいたようなことを口にしてみるみたいなことも大事なかなというふうに思います。

ベアトレの顔を見せるというのは、やはり子供に印象づけないといけないですね。例えば、先生方の笑顔とかをパッとビジュアルに見て、それで先生がこんな顔をしてくれたんだと印象づけることによって、その次の行動が修正されるので、やはりいかに印象づけるかというところは大きさにやっていただくということが必要で、わー、すごいねといったような、やはり一瞬の切れ味というのがすごく必要なんだなというふうに私自身は思っていますけれども、そんな感じでいいですか。

【長瀬】はい。本当に大事だなと思います。先生たちの笑顔が多分すごく元氣のもとになると思います。

ちよつとだけ、私が行動を入れてというふうに言っていますが、何がよかったか分かっていないお子さんには別にそれも言わなくても、すごいねというふうに今言ってくださつたので伝わることもあるので、それでも大丈夫だと思います。お子さんによって変えてもらったり、「すごいね、何々したんだ。」と言って、後から行動を入れて言ってくれてもいいしというような、そんな感じです。

ありがとうございます。

【岡】ありがとうございます。

そうしましたら、次の御質問は、少し今日のお話とはずれるかもしれないんですけども、園にいらっしゃるお子さんで小学校に関して支援級を勧めているんですが、保護者の理解は得られておらず、普通級を希望している御家庭がいますということで、これから1年間在籍する間にどういうふうに関係行動に向けての練習時間を設けるべきなのかという御質問があります。パニック行動なんかもあるようなお子さんのようですけれども、これはどうしましょう、金原先生、何か。

【金原】そうですね。非常によく考えてやっておられるなと思いました。「現在は別行動で対応しておられたり、パニック行動にならないように切り替えたりしているが、今の儘の対応で良いのだろうか」というご質問で、年長の間に小学校入学までのどの

程度のステップで取り組んだら良いのかという質問だと思います。あまり焦ってもいけないと思うのです。みんなと一緒の活動の中で、他の子はこんな活動をしているけれども、この子の場合は、細かなステップを踏むような方法で1年生に向けて慣らししていく、準備をしていくことだと思のです。ずっと体験させないのもどうかという質問ですが、確かにある態度は苦手なことにエクスポージャーする（チャレンジする）・段階を少しずつ踏んでいくというのも大事です。パニックが全く起こらないのいいのかということですが、必ずしもそうは思いません。しかし、失敗体験が心の傷にならないようなレベルのステップの踏み方で成長を待つ方針が良いと思います。このような準備を行いながら、就学相談、年長から小学校入学を迎えるといいと思います。

【岡】ありがとうございます。

何か、長瀬先生も追加することはございますか。

【長瀬】ありがとうございます。

本当にいろいろな心を碎いて、保護者さんだったり、お子さんのことのその先を考えてくださってのことなんだろうなというふうに思います。

なかなか難しいですけども、支援級に行くということをお勧めして理解が得られない場合に、何で支援級に行きたくないのだろうかと、行くことを考えるという前に、こういった背景があるのかなというのを聞きできたりすると、その心配に対してこういったことがあるから大丈夫と言われることで一つずつちょっとクリアできて、ということも、もしかしたらあるのかもしれないです。また、親御さんは保育園でできているのというふうに思われることも多くて、学校との違いがまだイメージができていない、1人目のお子さんだったりすると分からなかったりということもあるかもしれないので、きつとお話をしてくださっているのかなとは思っています。パニックというのがまたこういうパニックなのか、嫌だということを言葉で言えている子なのか、暴れてしまったって物を投げてなのかとか、どこかに飛び出してしまうのか。そういうことがあるとすると、その手前にどういう表現で行動をしているのかなと、AB C分析を細かく段階で書いてもらうと、もしかしたらここでその子が援助を求めるタイミングというのを見つけてこういうふうにしようにサポートして頂けると、支援級に行くか行かないかは分からないけれども、何らかの学校に行くときに保育園の先生たちがこうやって、このタイミングで関わってあげたらうまくできるかもしれないんだということをお子さんの先生たちにお伝えすることが見つかるんだらうと思います。なので、チャンス、今の少しエクスポージャーをする必要がある中で、ただやってみるのではなく、どういうふうな流れでお子さんがそれを受け

止めているかなというのを観察して、支援するタイミングを見つけてこのためにもやはりそういう体験をさせてあげて下さい。お子さんが苦し過ぎないようにするというのも大事です。そう思いました。

【岡】ありがとうございます。

それでは、次の御質問で、コロナ禍という特殊な環境下で育った子供たちがどのような心身の発達をしていくのか。何か育ちの中で心配なことや気にかけることがあるのだろうかという話が保護者の方との間であるそうです。何かそうした点について、アドバイスがありますかという御質問ですけれども、金原先生、いかがでしょうか。

【金原】新型コロナ感染症が我が国で発生した年と2年目に、厳しい感染防御対策が医療機関や学校や園で求められましたが、保育園でも先生方のお仕事が増えて大変だったと思います。我々が懸念していることは、感染防御対策のやり過ぎによる影響、全般的な感染症への免疫の低下です。幼児期にある程度感染症に罹りながら、「あまりひどくならないように」ような程度の状態で、感染症への抵抗力をつけながら小学校に入学するのが望ましいと思います。

東京と地方で違いがあるかどうかはよくわかりませんが、運動能力や体力の低下が気になります。コロナ対策の生活制限だけの影響ではないと思いますが、スマホ依存やゲーム依存の増加や将来のコミュニケーション能力の低下も気になります。このような状態が気がかりだったので、当院の石本副院長が、2023年3月に、「マスクバイバイ—こどものつばやき」という本を出版しました。一方、子どもたちは適応する能力も持っているという思いもあります。

心身症や不安症、自殺や自傷は確実に増えています。これは、思春期に向けての懸念ですが、子ども達がコロナ前にはできていたことで、コロナの時代にできなかったことを、どのようにしたら体験させてあげられるかを考えてみる必要があると思っています。感染防止のための作業は、政府や医療からの指示で先生たちがやらなければならなかったのですが、下関では園によって対応がかなり違っていました。私が園医をしている園では、園長先生の方針で、コロナの間もずっと子ども達にマスクをつけることを求めなかったもので、ほとんどの子はマスクを着用していませんでした。子たちのコミュニケーションの問題を大切にしている園です。最近では、子どもたちの生き生きとした姿が、だいぶ戻ってきつつあると思うのですが、まだ、園によって差があると思います。過剰な感染防御対策や行動制限は見直して良いと思います。

【岡】長瀬先生、いかがですか。

【長瀬】先生が全部お話ししてくださったと思いますが、最近あったのですが、昔はちょっと鼻水拭いたりとかを手でするのが、小学校の三、四年生以降ぐらいから注

意されていたのが、最近は結構1年生から汚いと言われるということで、ちょっとつらい思いになるお子さんが外来でいらっしやあって。あちらこちらに気を配れないタイプのお子さんは、汚いことをすることがありますが、感染とかに対してもみんな指導されてきた中で、許されないことになってしまっています。そういったところで、先生がおっしゃってくださったように過剰ではない付き合い方というのは大事だなというふうに思いました。

【岡】ありがとうございます。

やはり、どういうふうにも前の生活に戻ってという、そういう中で恐らく子供たちが適応してくれるのかなと思います。

それから、次の御質問は先ほどの御質問と似ているんですけども、発達障害のあるお子さんを保護者にどう伝えたり、どうアプローチしたらいいでしょうかといううなことです。金原先生、いかがですか。

【金原】この質問は、5歳児相談後の研修会で毎年いただく質問です。まずは、「保護者と保育者には気づきの差があるのは当然と考えておくことが大切」とお答えしています。そして、気になる点は、「このようにしてみたら、〇〇ができるようになったのですよ」など、「気にかけていること」として送迎の短時間の間に小出しに伝えておき、どこかの時点で、保育士がどのように関わったのか知りたい」というような表現で、相談機関に繋げるのが良いと思います。

もう一つは、保護者を変えようとすることに意識を向けすぎないことです。変わるのには時間がかかるし大変な作業です。現実を見ながら変わっていくものだと思います。年少や年中の時は保護者に伝わりにくくても、年長になって、保護者が「なんとかしないと」と思うようになってくる場合もあります。保育士は、子どもに関わることにエネルギーを向けた方が良く思っています。「保育者が思う適時が保護者の適時」とは限りません。また、保護者に受け入れ難さがある場合には、家族間の意見の相違などが背景にあることもあります。

【岡】ありがとうございます。

長瀬先生、何か追加することはございます。

【長瀬】同じくです。スライドの中でもちよつとお話したさっきのケースもそうかなと思うんですけども、金原先生がおっしゃるいろいろな背景を一緒に聞き取っていただいて、寄り添ってもらいながら、必要なことを見つけないながら、ちよつとそこにチャンスがあればつながっていくという、そんな感じかなと思っています。

【岡】ありがとうございます。

それから、睡眠の問題を御質問いただいていますけれども、2歳のお子さん、園児

の方が寝るのが深夜0時ぐらいということで、布団には早めに入っているんだけど、0時ぐらいから8時くらいまで寝ているということで、これで睡眠が足りているのかどうかということを心配されているということです。この辺り、金原先生、いかがでしょうか。

【金原】日本の子供たちは、大人も含めて世界の中でも相当睡眠時間が少ない国だというふうに言われています。今は発達に問題ないと言いながらも、やはり8時間というのはとても短くて、11時間から14時間ぐらいは欲しいなと思います。

ただ、家族の生活状況がどうなっているかとか、家族の考え方とか、その辺を聞き取りながら「もうちよつと多くしましよ」というようなことが必要ですし、睡眠不足になるとパフォーマンスが、力が発揮できないというようなこともあったり、集中力にも差ができたりとか、非常にマイナス面で、保護者が気づいてない部分もあるかもしれないところですよ。『そのような報告もあるので。』といううなことをお伝えして、「家での睡眠時間をできるだけ確保しましよ」ということをお話しするといいかと思います。

【岡】ありがとうございます。

長瀬先生、よろしいですか。

【長瀬】同じくです。いろいろな工夫があると思うんですけども、入っているんだけど寝ないという。この入っているのが0時より30分前なのか、どのぐらいなのか分からないですけども、そこでお子さんがどう過ごしているのかなというところもありますね。なので、そんなこともちよつとお話を聞いてもらいながら、あとは寝やすい工夫とかはいろいろなサイトとかでもあったり、あと園医の先生や小児科の先生たちなんかはすごくそこは大事にされているので、いろいろな生理的なことも含めてアドバイスをくださるのかなと思うので、できそうなことを一緒に御相談いただけるというのかなというふうに思います。

【岡】ありがとうございます。

それから、次の質問に移らせていただきますけれども、民間療育施設との関わり方をということでの御質問ですが、何か。では、長瀬先生、よろしいですか。

【長瀬】御質問がどんなことをお知りになりたいのか、ずれていたら申し訳ないんですけど、保育園も行って、民間療育施設も行ってというふうな子はたくさん増えてこれたかなと思うんです。民間のところに行くいろいろな今日やりましたみたいな連絡帳的な計画なんかを渡してくださったたりしているので、親御さんが希望してくださればぜひそういうどんなことをやっているのかをお互いに共有して、もしくは保育園の状況も知っていたいてというふうに連携が取れると、保育園でもできるよ

うになってほしいことを個別で上手にできるように練習してもらって、般化と言いま
すけれども、保育園で大きな集団で教えてあげるのは難しいけれども、療育機関で
できるようになったことを使えるように支援するみたいな感じのことができると思うの
で、そういう共有ができると、親御さんもお子さんも違った方針ではないから、すご
く安心できるのかなんていうふうに思います。

あとは、保育所等訪問支援事業を利用されている場合、園の先生が見張られてしまっ
ている感じがすると言って、当初は来られるのは少し嫌だななんていうふうなお声も
聞いたことがあるんですけど、そうではなくて、お互いにいいところだったり、
実際のお子さんの場面を見ることは本当に大事だと思うので、そうやってみんなが協
働できるような形になるように利用していただけたらいいかなと思います。民間療育
ばかりに行って登園日が少ないとか、そういう日数のこととか、少し課題になること
もあるかもしれないですけども、その辺は全体的な支援の必要性を考えてお互いに
やっていただけるといいのかなんて思っています。

以上です。

【岡】何か追加はございますか。

【金原】東京と地方に差があるのかどうかかわらないのですが、療育施設の活動内
容も様々で、送迎の有無、療育内容、家族への支援の力量などに差が大きいと思いま
す。活動内容が、十分ではないと思う場合は、相談支援員さんをお願いして保育園で
担当者会議を開催してもらうとうまくいくようになると思います。保育園と療育施設
と保護者が、お互いの思いを共有し、関わり方を意見交換することができます。

【岡】ありがとうございます。

ぜひそういう形で有効な交流をしていただけたらいいかなというふうに思います。

それから、次の御質問は、今日の金原先生のお話の中に感覚過敏のお話がありまし
たけれども、保護者の方が何でもその子の嫌がることはしないしてほしいということで、
味覚が過敏なお子さんですけれども、1人だけに特定の食べ物だけの弁当を持参して
いると。感覚過敏に慣れていくことも重要だと思えますけれども、どのように対応し
たらいいでしょうかという御質問です。金原先生、いかがでしょうか。

【金原】このような質問はよくありますが、私はこのように思います。感覚の問題
の辛さやしんどさは本人にしかわかりません。保育士が思う「これくらいなら大丈夫」
や「子どもの大丈夫」と「保護者の大丈夫」が違っていて揉める場合もあります。
感覚過敏だけでなく、過去の体験に不安が上乘せして、認知がずれていて食べられな
くなっている場合もあります。その後いつか食べることができるようになる場合もある
のですが、小学校に入学して慣れていくのも、ありかなあと思います。よく考える

と、大人も苦手な食べ物は食べないで生活しているので、「なんとかしよう」と思い
すぎないようにしましょう。人生のどこかで、思い込みが外れる時が来て、あれだけ
食べれなかった食べ物、大好きになることもあります。

【岡】長瀬先生、何かございますか。

【長瀬】私は、好き嫌いが多いタイプだったので、学校の給食も最後に校長先生と
食べていたこともあるぐらいな、もう吐いてしまうかもしれない状況でえきながら
食べたりとかしていましたけれども、こういう性格だったので何とか学校は行けてい
ました。

やはり、担当のお子さんでも給食が怖くて園に行けなくなってしまったという方も
いるので、本当に全体のバランスなのかなと思います。ある程度、栄養のバランス的
に必要なものは取れるようにどこかで確認してあげるといことは必要かなと思うん
ですけれども、それが確保できていたら、園ではそんなに無理しないでというような
ことも大事ですよ。

あとは、ちょっと混ぜ込むとかそういうので、親御さんとだんだん工夫できること
とかがあったりとかしたら、ほんのちよつと、小さじ1杯、小さじ1杯、小さじ1杯、
杯ぐらいな、そんな感じのことからちよつとずつ練習したりとかしてくださっている
ところもあります。という感じです。

【岡】ありがとうございます。

さつき金原先生がおっしゃったように、やはり食べられなかったというときに、進
めて失敗した経験というのがトラウマになるといのは、食べるということに関して
は本当に強いですね。ですから、やはりこれは無理しないほうが本当にいいと思
います。長瀬先生もおっしゃったように必要な栄養だけ取る作戦で、長い目で見てい
くということがすごく大事なかなというふうに思います。食べなくなってしまう子を戻
すのは本当に大変なので、過去のトラウマをほぐしていくのにすごい時間がかかるの
で、本当に無理はされないほうがいいかなという気がします。

それでは、次の質問です。療育をお勧めする場合の伝え方、気をつけるポイント、
また、相談に行っていただけのような話の持っていく方ということで、特にあまり困
り感がない方の場合に、あるいは認めたくない方の場合にということ、先ほどのお
話とちよつとつながるかと思えますけれども、何か特に追加はございますか。よろし
いですか。

やはり、こういうことを気になっているんですよということを送り添ってお話す
るところから始まるのかなということ、昨年佐々木先生も本当に同じことを
やはりおっしゃっていたのを思い出しました。

それから、次の御質問は、今は子供園の園長先生をしていて、以前は学校、小学校、それから特別支援学校の先生などもされていたというベテランの方からの御質問です。今、就学前の施設にこうやって勤務をしていると、公立小学校の現場との何かギャップを感じますということ、何か気になる子供の小学校の受入れや入学の対応に変化があるんでしょうかというようなことを御質問されていますけれども、先生方、何かこういうことで気づかれたことはありますか。

【金原】これも東京と地方の差があるのかもしれませんが。下関には公立の小学校しかありませんが、東京は私立がとて多いと聞いております。私の息子夫婦の一人娘が目黒の公立小学校に通っています。昨日、夕食を一緒に食べながら話をしていますが、「楽しいよ、落ち着いているよ」と言っていました。その子が通っている小学校がそうなのかもしれません。

保育の場と小学校のギャップは、以前から随分あると思っています。私は、25〜26年くらい前から園医や学校医を勤めており30年以上就学相談の委員も務めています。この数年間で変化は感じていません。特別支援教育の体制が変わってきているので、10年単位で考えると、保護者が通常学級と特別支援学級の選択に迷う場合、特別支援学級を選択される方が多くなっていると感じています。

【長瀬】私が知っている板橋は、10年、15年くらい前から入学する前に保育園の先生たちや幼稚園の先生がふだんの生活について書く就学支援シートというのを共有するような流れになって、学校にお子さんのことを理解してもらえようになっていると思います。それがだんだん認知されて、以前は資料がお蔵入りしてしまうような学校もあつたところが、利用するんだよみたいなことになり、事前に情報を得て校内委員会とかも充実してきてくださっていて、以前よりも本当に支援の在り方がよくなっているかなというところです。

あと、2022年に日本は分離教育が行き過ぎていないかと勧告をされたということもあって、行政のほうも「特別支援学級適」というのを出すときに、「適」の判断はするけれども、親御さんの御希望をより大事にしますというのを前面に出して言うてくださるようになったなという感じのところがあるので、むしろ私が知っている地域としてはこの数年でよくなってきた感じのような感じがします。

【岡】ありがとうございます。

お二人の先生のおっしゃるような感じかなと私も思っております。

それから、次の御質問は、体臭がきついお子さんが今度入院してくるということで、どうも長い間お風呂に入っていないようで、衛生面で大きな課題を抱えている家庭環境かなということです。保護者の方への支援が必要のように思われますけれども、どう

いう支援をしていったらいいでしょうかというような御質問ですが、いかがでしょうか。金原先生、お願いいたします。

【金原】ご家庭の背景がどのようなものかわかりませんが、下関の場合、20%くらいが保護者の精神疾患や要保護・要支援のご家庭の子どもたちだと思います。このようなご家庭の子どもには、他の子ども以上に、園でできる限りのことをしてあげると良いと思います。

以前虐待を受けて育った方が大人になって道を踏み外しようになった時や命を断とうと思った時に思いとどまったのは、2つのことが頭に浮かんできたからだという話を聞いたことがあります。一つは「隣人」の存在です。「隣人」とは、ひもじい思いをしていた時に食べさせてくれた隣のおばちゃんだったり、何かと気にかけてくれた保育園や学校の先生だったりなど、その子の側にいてくれた人です。もう一つは、「子ども時代の原風景」だと言われるのです。家では色々なことはして貰えないけど、保育園や学校は素晴らしい場所で、季節の行事や体験など様々な活動を体験させて貰える場所です。これらが原風景として、その人の心の中に残っているのだと思います。もう一つは、使えるもの、サービスや制度などは、なんでも使うことです。下関の場合、行政の相談の場は、子ども保育課、児童家庭課などです。つなぎやすいところに繋いで、みんなで育てにくさを支援していくことだと思います。育てにくさは親にとつてのSOSです。子どもと親の両方向から支援することが大切だと思います。

【岡】長瀬先生、いかがですか。

【長瀬】本当に同じです。まず、先生方が、「保護者がちゃんとやっていない」と思うのではなく、「保護者も支援が必要なのかな」というふうに思ってください。たのがすごく大事な点だろなと思って思うので、今言ってきたように、あるものは全部使えるように、それが望まれるのであればということで、望むように、気持ちを楽に、当たり前だよというふうに思えるようにみんなで育てて、当たり前だよというふうに思えるように持つていただけたらいいです。私たちのところは子ども家庭支援センターだったり保健師さんだったり、障害がなくても利用できる場所、理解のある民生委員さんだったりとかがサポートしてくださったりしているので、今周りにどういった支援があるのかというのをぜひ皆さんで共有していただける機会があるというのではないかなと思いました。

【岡】お二人がおっしゃっているのは、やはり保育園だけが対応するわけではなくて、ただ、保育園は生活する場なので一番身近に接すると思いますけれども、ぜひ地域の支援にうまくつなげていただく窓口として働いていただけたらいいのかなというふうに思います。恐らく、社会は今そういうことを保育に非常に期待していると思います。

し、私自身もネグレクトのお子さんで、やはり保育園と連携しながらやっていった経験があります。そのときは、栄養を取るのも保育園というふうに思っていました。

それから、気になる行動が発達障害の特性によるものなのか、PTSDの影響によるものなのか、その両方なのか分からないような場合はどうしたらいいかという御質問ですけれども、金原先生、いかがですか。

【金原】ご質問の内容では、PTSDという言葉を使っておられますが、トラウマ関連障害や愛着障害のイメージで受け取りました。発達障害の特性があると育てにくので愛着障害を起こしやすいこともあるし、愛着障害に似た行動をおこすことも知られています。両者を見分けるのは難しい場合もありますが、家庭背景の情報収集がとても大切です。愛着障害の場合は、危険な行動が激しすぎる、ベタベタくつき、くつき方が度を超えている、フラッシュバックがたびたび起こるなどがよくみられます。愛着の対象は、親だけでなく、保育者の方々も愛着の対象や安全基地や避難基地になれます。言葉掛けとしては、「怖かったね」「悔しかったね」など、子どもの気持ちをなぞるような言葉をかけ、気持ちに名前をつけてあげる方法がおすすめです。

【岡】ありがとうございます。

長瀬先生、いかがですか。

【長瀬】先生が言ってくださったとおりかなというふうに思いながら伺っていました。さつき、お子さんの障害とか、そういったことで捉えるのではなく、今の御様子に対して対応するという点では、PTSDで落ち着かないようなお子さんたちも、発達障害で落ち着かないお子さんも、基本的には安心・安全を与えていただいて、その上で少し具体的なスキルだったりを教えていく。不安がベースかもしれない、わーってなるのは何のときにそうなるのかなというのに気づいてくださることが大事で、いつかそういう診断をする時にも、こんなときにこんなふうになっていたと教えてくださることも大事になってくるかなというふうに思います。先生がさつき言ってくださったように、過剰な反応だったり、もしくは繰り返す同じようなことをちよつとしたりとかというようなことがあるようなことで気になるようだったら、何か御相談をということもあるんですけども、ただ、基本的には「安心安全、楽しく遊んであげるということ自体が治療です」とたくさんのトラウマを抱える子どもにお会いになっている先生もおっしゃっていたので、保育園はそういう大事な場かなというふうに思いました。

【岡】ありがとうございます。

そうしましたら、最後の御質問に移りたいと思います。園内において保護者支援を

進める上で、園長を中心にしてどういったような体制を整えていくのがよいでしょうか。よかった事例などがあれば教えてくださいという御質問です。

では、長瀬先生、お願いいたします。

【長瀬】先生方は施設内でいろいろ勉強会をされたりしているのではないかなと思うんですけども、お子さんの様子を引き継ぐ時、どういう内容を引き継ぐかにもよるのかなと思うんですが、「こういうことが困ります」なのか、「こういうふうにする」ということができます」なのか、そこがより具体的にあれば、その次にバトンタッチする人がその状況をつないでいく、同じような関わりをしてあげるとお子さんも少し安心なので、そこからまたその先生のやり方に子供の行動が変化していくなんていうこともあるのかななんて思います。ただ、コッがあまり分からない先生とか、時々支援に入ってくださる先生だと難しさがあるので、ここはこういうふうにお問い合わせしますと、大人側も具体的にこうしてくださいとアドバイスしてもらったほうがやりやすいとかというのはあるのかななんて思ったりします。

今日、リーフレットをお渡ししていますが、私は保育園巡回で毎年いろいろな園に行くんですが、ある園長先生が、これを毎年、新人さんが来たら私が説明しているんですなんて言ってくださったところもあったりして、そういうふうになんが同じベースでやることを、何らかを共有したりとかするチャンスを、省エネであまり時間をかけずにやれる方法も大事なのかなと思います。

あと、ABC分析も、ある何個かだけをかいてみて、たくさんやらなくてもそうすることで、みんなが同じような視点で見えてきて応用できるようになったりするので、そんな感じで支援をしてもらえたらなと思ったります。

あと、1個だけ。その子の好きなことを10個ぐらい書いてくださいとか、その子がいつもやっていることを10個ぐらい書いてくださいとお伝えしますが、そこからまたヒントが見えるのかななんていう話をしたりします。

以上です。

【金原】下関でやっていることを紹介します。園の加配保育者が毎年交代するのかわかりませんが、交代しないのであれば、園の職員の一員として園全体の研修会に参加されたら良いと思います。下関市では、医師会に園医部会があり、医師会側は、園医（小児科医・内科医、耳鼻科医、眼科医）、公立私立の幼稚園・保育園・子ども園園長が運営委員になり、年に2回、研修会や園の先生との意見交換会を開催しています。他に、5歳児相談の研修会も開催しております。最近では、キャリアアップ研修会などオンラインで参加できる研修会も増えているようですので、加配保育士も参加していただいたら良いと思います。私は、企業型の保育園の園医もいくつか勤め



ていますが、先日、園医健診のために園訪問した際にオンラインで研修を受けておられました。結構頑張って研修を受けておられるのだなと思いました。

【岡】 どうもありがとうございます。

お二人の先生には、本当に長い時間御講演と非常に丁寧な御説明をいただいたと思います。最初に金原先生がおっしゃったように、個性、性格ですか。本当に皆さんの園にはいろいろな個性と性格のお子さんたちがぎやかに毎日生活をされていると思いますけれども、そのお子さんたちが先ほど金原先生もおっしゃったように、恐らく成人になって大学とかに行ったりとか将来していくわけですので、そのときにはきつとあの頃はこうだったみたいな話がいっぱい出てくるんだろうと思いますが、今はそういう時期を恐らく皆さんに毎日対応していただいていると思います。今日、お二人の先生にいただいたことをまたヒントにしていだいて、あしたからの保育所での活動につなげていただければと思います。

時間になりましたので、これで終了させていただきます。どうもありがとうございます。

—— 了 ——



【講師ご紹介】

岡 明（おか あきら）（座長）

略歴

昭和59年 東京大学医学部附属病院小児科入局
平成2年 米国Harvard大学Boston小児病院神経科学研究員
平成10年 鳥取大学医学部脳神経小児科助教授
平成16年 国立成育医療センター神経内科医長
平成19年 東京大学医学部小児科准教授
平成21年 杏林大学医学部小児科教授
平成25年 東京大学大学院医学系研究科小児科教授
令和2年 埼玉県立小児医療センター病院長
現在に至る。

役職・学会等

日本小児科学会 会長
日本小児神経学会 監事
日本保育保健協議会 副会長
日本小児保健協会 理事

専門分野

小児科学、小児神経学

金原 洋治（かねはら ようじ）

略歴

1975年 山口大学医学部卒業、山口大学医学部小児科入局
1977年 済生会下関総合病院 小児科勤務
1988年 医療法人社団かねはら小児科 院長
現在に至る

役職・学会等

日本場面緘黙研究会理事・かんもくネット会員
日本保育保健協議会発達支援員会委員
山口県小児科医会名誉会長
社会福祉法人じねんじょ理事長
（重症心身障害児者地域生活支援センター運営）
専門分野
心身症・小児精神医療
発達障害・障害児医療

長瀬 美香（ながせ みか）

略歴

1994年 東京医科歯科大学医学部医学科卒業
東京大学医学部小児科入局
1998年 心身障害児総合医療療育センター勤務
現在に至る

役職・学会等

板橋区子ども発達支援センター センター長
板橋区要支援児保育指導員総括責任者
板橋区小中学校特別支援学級相談医
昭和女子大学初等教育学部非常勤講師
日本ベアレント・トレーニング研究会理事

専門分野

小児精神医学、発達障害、重症心身障害、児童虐待、障害児虐待
小児リハビリテーション